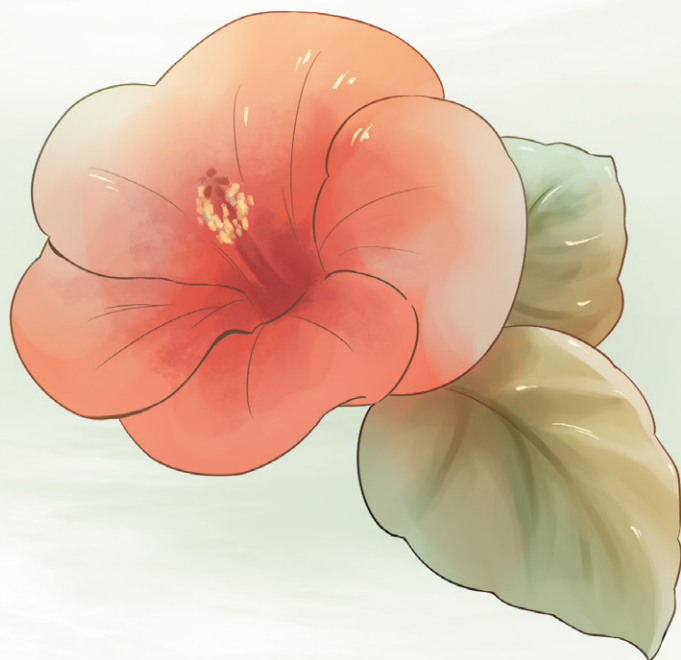


「島へ与える」から「島から与える」へ

戦争を語り継ぎ



未来に平和をつなぐ

文化庁委託事業
令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業
「女子学徒たちの沖縄戦」公演と調査による離島・へき地の活性化事業

もくじ

1. 経過報告 事業計画と事業実績	...	1
2. 生徒・児童 観劇前アンケート	...	2
3. 生徒・児童 観劇後アンケート	...	12
4. 教職員・教育関係者・保護者 観劇前アンケート	...	22
5. 教職員・教育関係者・保護者 観劇後アンケート	...	42
6. 考察 アンケート調査結果を受けて	...	56
7. マスメディア報道報告 新聞記事など	...	60
8. 朗読劇「女子学徒たちの沖縄戦」について 竹富町立大原中学校 校長 垣花正人	...	63
9. 文化庁主催：「躍動する朗読劇『女子学徒たちの沖縄戦』を鑑賞して思うこと 竹富町立大原小学校 校長 宮良貞光	...	64
10. 島の文化の発展や今回のような取組への期待や重要性 竹富町立竹富小学校 教員 親田拓之	...	65
11. 本事業に対するコーディネーターの思い 西表島コーディネーター 山城まゆみ	...	66
12. オンラインで結ぶ朗読劇を観て 竹富島コーディネーター 石垣久雄 (竹富町史編集委員会)	...	67
13. 「芸術文化創造事業」への所感 現地総括コーディネーター 宮良純一郎 (八重山戦争マラリアを語り継ぐ会)	...	68
14. 信頼のバトン 演出 森一 (劇団俳優座)	...	70
15. ライフワークとして取り組む プロデューサー 有馬理恵 (劇団俳優座)	...	72
16. 参考 事業チラシ	...	74

経過報告

事業計画と事業実績

新型コロナウイルス感染症拡大により事業計画を変更し実施しました。

実施期間	事業計画	事業実績
5月		現地コーディネーターとリモート会議
		コロナ禍による八重山諸島の状況調査
6月	1回目調査(八重山諸島入り)	コロナ感染拡大により1回目調査延期
		現地コーディネーターとリモート会議
7月		1回目調査(八重山諸島入り)
		現地コーディネーターとリモート会議
8月	2回目調査(八重山諸島入り)	コロナ感染拡大により2回目調査延期
		オンライン生配信のリモート会議
9月		稽古開始
	稽古開始	1回目オンライン生配信テスト
10月	3回目調査(八重山諸島入り)	2回目オンライン生配信テスト
		観劇前アンケート調査
11月		八重山諸島オンライン生配信公演
	観劇前アンケート調査	観劇後アンケート調査
12月	八重山諸島巡演公演	現地コーディネーターとリモート会議
	観劇後アンケート調査	
1月	4回目調査(八重山諸島入り)	緊急事態宣言により2回目調査延期
	次年度へのアンケート調査	現地コーディネーターとリモート会議
2月	5回目調査(八重山諸島入り)	緊急事態宣言延長により2回目調査断念
	報告書完成	
3月		報告書完成
		現地コーディネーターとリモート会議

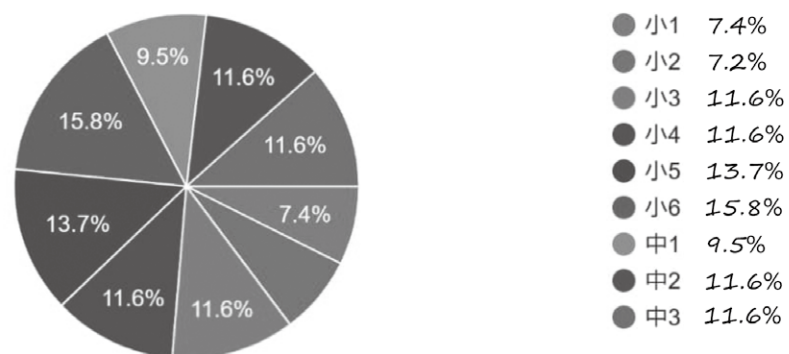
「はい」と答えた人はどこで観ましたか

55件の回答

石垣市民会館	22件
石垣島	10件
大原小学校	10件
学校	5件
総合センター	3件
体育館	3件
大原中学校体育館	2件
テレビ	2件
西部	1件
家	1件
中野ワイワイホール	1件
西表	1件
東京都大井町の劇団四季	1件
大阪の難波	1件

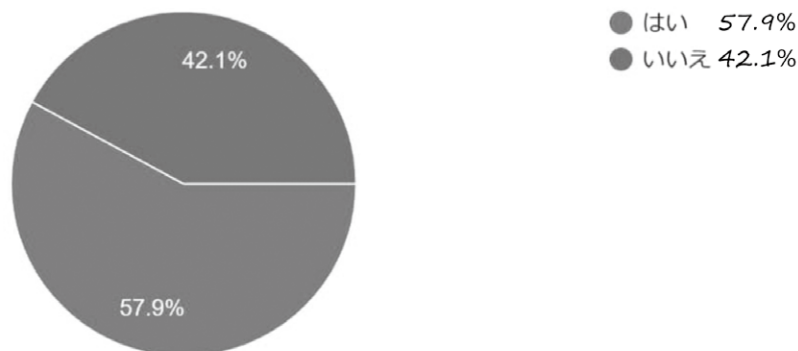
学年

95件の回答



今までお芝居を観たことありますか

95件の回答



おかわもちになりたいです

おかわもちになりたいです

・あなたの夢を、自由に書いてください。文章でも絵でもなんでも大丈夫です。

ようちえんのせんせいになりたいです。

ようちえんのせんせいになりたいです。

2



3

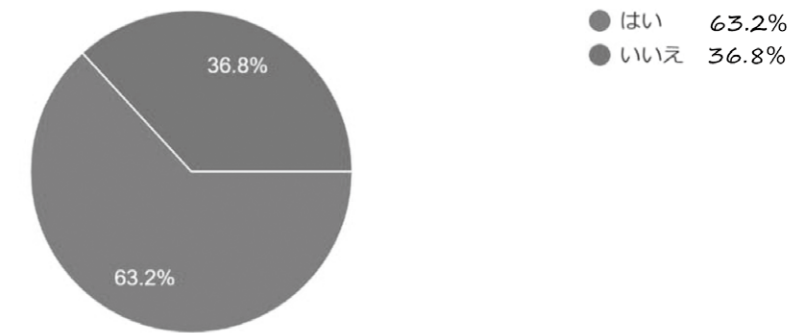
どんなお芝居でしたか

54 件の回答

オヤケアカハチ	12 件
マジョリン	11 件
組踊	9 件
ミュージカル	5 件
エルコスのいのり	2 件
戦争の物語	4 件
平和劇	2 件
ウルトラマンのお話	1 件
三年峠	1 件
お人形	1 件
風の中の子どもたち	1 件
そうがやってきた	1 件
イリオモテヤマネコのはなし	1 件
女の人が鬼になる話	1 件
海の中でスイミーみたいだった	1 件
1人のネコを決め、そのネコが天にのぼる話	1 件
沖縄の伝説の話	1 件
島の歴史	1 件
王様の耳はロバの耳	1 件
舞台へタリア	1 件
昔話	1 件
シンジャーショー	1 件
嵐の中の子供達	1 件
喜劇	1 件

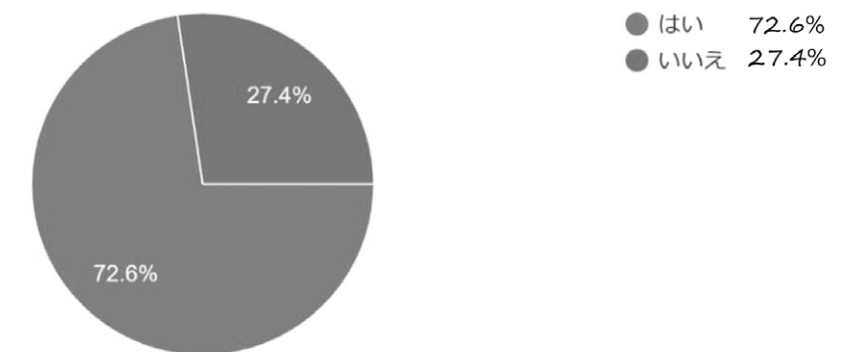
お芝居に興味がありますか

95 件の回答



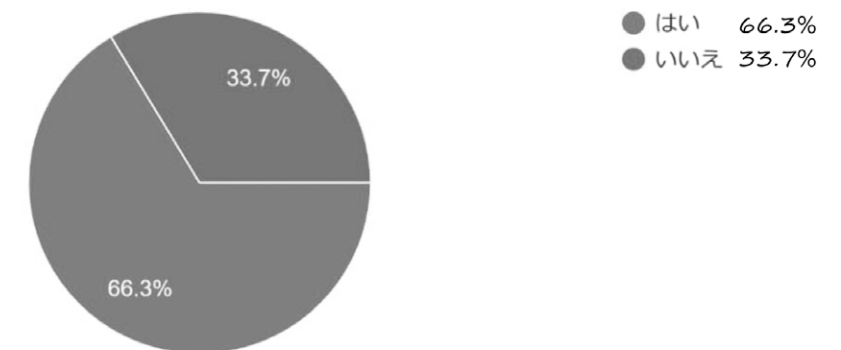
島の歴史に興味がありますか

95 件の回答



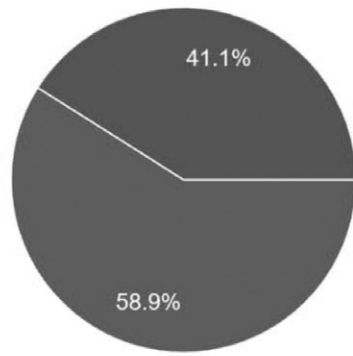
島の伝統芸能に興味がありますか

95 件の回答



島の方言に興味がありますか

95 件の回答



● はい 58.9%
● いいえ 41.1%



アイドル☆



わたしはアイドルになりたいです。

あなたの夢を自由に書いてください … 1/5

88 件の回答

おかねもちになりたいです

マンガかになりたいです

パイロットになりたいです。

おかねもちになりたいです。

ようちえんのせんせいになりたいです。

ようちえんのせんせいになりたいです。

ぼくのゆめは、だいくさんです

サッカー

やきゅうせんしゅ

わたしはアイドルになりたいです。

アイドル☆

わたしのゆめは、おいしやさんになることです。そしてせかいのまずしい人やびょうきになった人をたすけたいからです。なぜなら せかい中にまずしい人がたくさんいるからマザーテレサさんのようにたすけたいからです。そして1人でも多く人をたすけたいです。

いしや / くすりづくりのけんきゅうか

マンガ家

ケーキ屋さん

教し と アイドル です

ゲームクリエイター

げんごうをかえたいです。

ありがこないプリンの上でねたいです。

こくばんをいしでギィーとしたいです。

ながいきしたいです。

ネッシーを見たいです。

日曜日の次にひにちをつくりたいです。

あなたの夢を自由に書いてください … 2/5

88 件の回答

お父さんみたいな大工

ピアノの先生

私は、しょうらいタレントになりたいです。いろんな人をえがおにさせたいです。色々なことにチャレンジしたいです。

ケーキ屋さん

ケーキやさんではたらくこと

プロヤキュウせんしゅ

ぼくの夢はプロの野球選手です。

学校の先生か ケーキ屋さんか ほいくしさん

ぼくは、しょうらいバスケットボールの選手になりたいです。

私はほいくしになって、いろんな子に、やさしくしたり、いろいろと教えていくことです。

ゲームを作る、ゲームクリエイターになりたいです。

バスケの選手

夢は保育園の先生になることです。

野球選手

パティシエールになりたい。かるたクイーンになりたい。

バスケット選手

私の夢は保育士になることです。小さい子どもが好きでお世話をしてみたいからです。

保育士

家族で海外旅行にいきたい。

プロ野球選手で一す。メジャーには行きません。

億万長者になりたい。

プロバスケットボール選手になって NBA へ行くこと。

①ボカロの作曲！ ②医者

あなたの夢を自由に書いてください … 3/5

88 件の回答

プロの野球選手になりたい。保育士

マンガ家 アイスクリーム屋さん ペットショップ

私は看護師になりたいです。

プロ野球選手、先生けい

プロ野球選手

まだきまっていないけど、みんなに尊敬され、すごいつて思われる人になりたい。
世界のことを知りたい！！

看護師

でかい魚をつることです。

ゲーマー

おいしい物をいっぱい食べる。(アイスとかハンバーグとか)

自分の思うしあわせを手に入れる。

私は、びょうしや、植物にかんする仕事につきたいです。
一番は、びょうしになりたいと思っているけれど、花をいけることなど、植物が好きなので、植物に関係する仕事にもつきたいと思います。

プロバスケット選手になること。

絵を書く仕事(イラストレーター)

野球選手になりたい。

びょうし

一級建築士になって、自分の家も建てる。
外国に行く。
カナダでパンケーキ食べる。
カナダでオーロラ見る。
東京の高校に行きたい。

プロ野球選手

(絵で表現)

えいえんにバスケを続けられますように。

あなたの夢を自由に書いてください ... 4/5

88 件の回答

イラストレータ
外交官
go to Canada
ヨーロッパに住む

私の夢は内装関係の仕事につくことです。祖父の内装の店を継ぎ、建設会社につとめている父と合
同事業をしたいです。

また、兄弟で家を建てることです。

アメリカに行きたい。

私はホテルとかで接客する人になりたいです。

将来は声優になりたいです。そして有名な声優さんたちといっしょにアフレコしてみたいです。

1 つ目は自分で会社を建てる

2 つ目はプロ野球選手になる

野球選手

右見たら、仲の良い知りあり

左見たら、親友

のような人間になるのが夢

ゲーム関係

プログラマー

まだ夢は決まっていますが、人に役立つことができるといいです。

(絵で表してくれている)

自分の夢は人を助ける職業につきたいです。

私の夢はとくにありません。今は夢を見つけるためにがんばってます。

プロやきゅうせんしゅ

写真家 美容師

10

あなたの夢を自由に書いてください ... 5/5

88 件の回答

なし

私は将来の夢がはっきりと決まっているわけではないが、誰かを笑顔にする仕事に就きたいと思っ
ている。

夢はないです...

高校生になったら長期休みに、いろんなバイトをしてみたい。たくさんのことをして、自分にあったも
のをゆっくりみつけながら成長していけたらいいと思う。

私の将来の夢は CA になることでした。しかし、今はコロナ禍のため就職が難しくなっているというこ
とがあるそうです。私はその中で今までスポーツをしてきた中でお世話になった、しんきゅう士になり
たいと思いはじめました。

私は将来の夢がはっきり決まっていないので、真面目に勉強することを心がけています。

西表島で GUIDE やりたい。 国外旅行したい。

ジュエリー イラストレータ

保育士 美容師

かんごし

しょうらいの夢は、ドーナツ屋さんになりたいです。

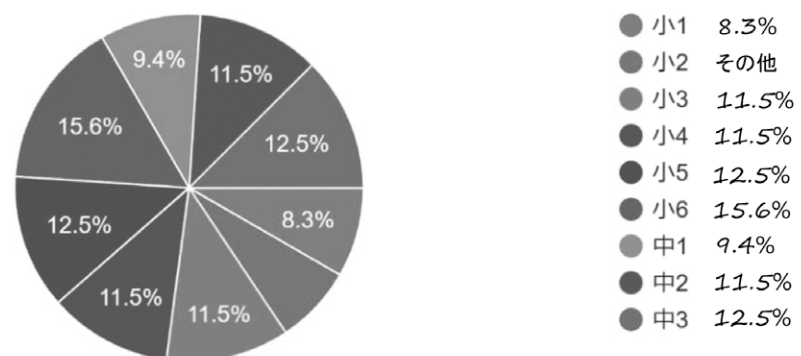
保育士 医りょう関係

パティシエ



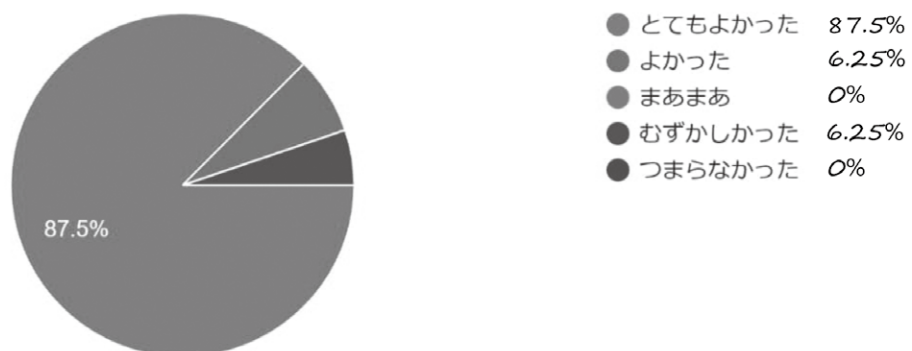
学年

96件の回答



お芝居はどうでしたか

96件の回答



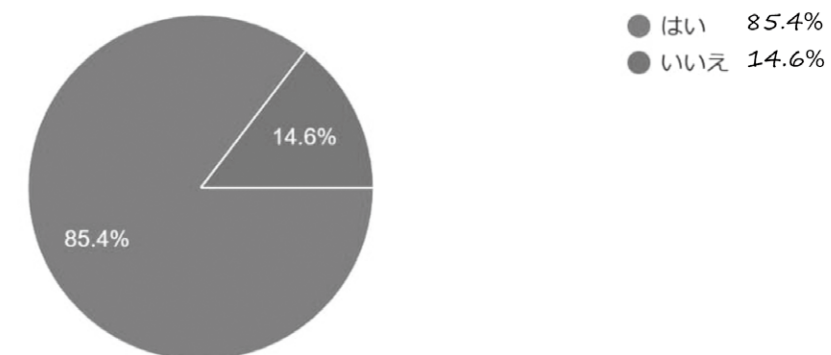
オンライン上演はどうでしたか

96件の回答



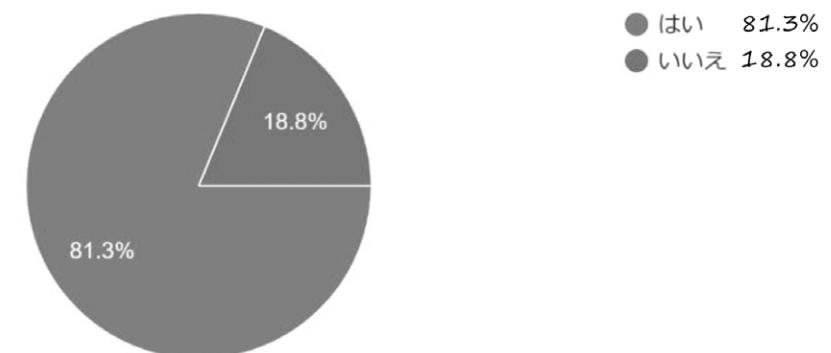
島の歴史に興味をもちましたか

96件の回答



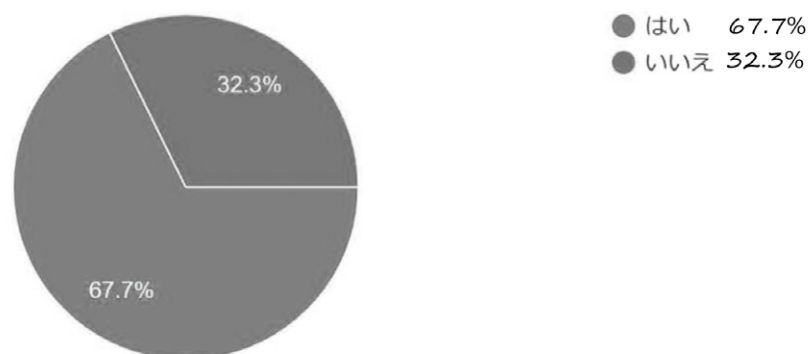
島の伝統芸能に興味をもちましたか

96件の回答



島の方言に興味をもちました

96件の回答



感想や意見 … 1/8

96 件の回答

げきを見て、人がなくなってこわかったです。

コロナウィルスがなかったら、きてほしかったです。

げきを見てせんそうがこわいとおもいました。

げきを見てせんそうがこわいとおもいました。

げきを見て、こわいとおもいました。

げきを見て、せんそうがとってもこわかったです。だから、せんそうにあいたくないです。

げきを見て、こんなことがあったからこわいなとおもった。

げきを見て、こわいなとおもいました。

すぐじょうずで、ちをだすところもあかいはんかちで、すぐさいげんしてて、とてもせんそうがこわいのがわかった。

ぼくは女子学とたちのおきなわせんが、すごいかないところがあったり、うれしいきもちがあったりして、おもしろかったです。

言ばや、うごきがくふうされていて、すごくいいなと思いました。でも、せんそうがどんなにこわいかおそれることがいっぱい、した。

わたしは、せんそうがすごくこわいことがわかりました。ひこうきが、たくさんとんで、ばくだんなどをおとすようすなど、考えただけでこわくなってきました。これからも、へいわを大切にしたいです。

私は、女子学とたちのおきなわせんを見て、せんそうはとてもこわいし、たくさんいのちがなくなったので、やってはいけないものなんだなあと思いました。

わたしは「女子学とたちのおきなわせん」をオンライン上えいを見て、「せんそうはこんなにこわいんだな。ずっとへいわでいてほしい。」と思いました。

びょういで光子さんたちがへいたいさんのけがをなおしている時に、おいしゃさんが「歩ける人はいっしょにいけけれど、歩けない人はしょうがない。」ということばが、わたしの心にのこってしまいました。なぜなら、ぞっとするほどこわかったからです。

せんそうはこわいとおもいました。

せんそうがこわいなとおもいました。

それと、ばくふうでとばされてえだにさきった子がこわかったです。

オンライン上演ではとても聞きやすかったです。

ばくふうで木にさきった男の子のげきがこわかったです。

感想や意見 … 2/8

96 件の回答

インタビューされて、とてもうれしかったです。こわいところもあったけど、本当はもっと、こわそうだなと思いました。

男のこが、ばくふうでとばされて、木にささるまで風がつよくて、せんそうはこわいなとおもいました。

わたしがこころにのこったのは、ばくふうでとばされて、きにつきささっているところが心にのこりました。えんぎもとてもできていてとてもすごかったです。

ぼくは、このげきをみてせんそうは、とてもこわいと思いました。

ぼくは、ばくふうでとんで、きにささっているところがこわかったです。

なので、せんそうが、ないようにしたいです。

せんそうがこわいのは知っていたけど、今回のげきを見て、もっとこわいを知りました。とくに、ばく風でとばされて木にささっている男の子です。

(絵であらわしてくれている)

(絵であらわしてくれている)

コロナウィルスのえいきょうでオンライン上演だったけど、声も伝わり良かったなと思いました。

せんそうの怖さが改めてわかりました。二度とせんそうがおきないように自分じしんも気をつけたいです。そして、来年は実際に見てみたいです。

このおしばいを見せてもらったおかげで、島のれきしや島のいろいろなことにきょうみを持ちました。だけど、とても悲しくて本当にこれがあったと思うともう二度とこんなみにくいせんそうはやめようと思いました。

すぐりたいてきなおしばいで、8人でいろんな人の役をするのはすごいなあと思いました。また次のおしばいも見てみたいです。

ばくだんの効か音を役者さんがやっており、1人でたくさんの人をやっているのがすごかったです。

オンラインだったけど、役にしっかりなりきって、何人も人の役をえんじていたのですごいなと思いました。次はオンラインじゃなくて生でみたいです。

ぼくは「女子学徒たちの沖縄戦」を見てオンラインで見るのが初めてだったのでとくしゅてきでよかったなと思います。

オンラインでは少ない人でもたくさんの人をやくができていて、すごかったです。次あるときは学校でみたいです。

声の強弱などをつかいわけていたのですごかった。光子など色々な役を一人で何人もやっていたのですごかった。

本当におきているような声や手ぶりがよかったです。

コロナウィルスでオンラインになったけど、来年は大原小でみたいです。

感想や意見 … 3/8

96 件の回答

一人一人の声などがハキハキしていて聞きやすかった。一人でたくさんの役をしていたのがすごかった。

1人で色々な役を演じていてすごかった！
今回でさらに沖縄戦について知れてよかった。

オンラインでろうどくげきを見て、最初はどんなやつだろうとおもったけど、少ない人数で一人何やくもやっ
ていてすごかったです。
次はオンラインじゃなくて、ぶたいでやっているのをみたいです。

少し見えづらいときがあったりしたので次は来てほしいです。

色々な声を出し、一人で何人もの役をやっけていてすごかったです。
また、おしばいとして戦争のことを学んで、改めて戦争の苦しさを知りました。

8人であんなにたくさんの人や音がさいげんできていて「すごい」と思った。
あと、戦争は何千人という命をうばってとてもおそろしいものだと思った。

オンラインでうまくやっているということがすごいと思った。

女の子なのにどうしてそんな目に合わなきゃいけないのか？

私は人の声で、ばくだんの音とかをならしていたので、すごいと思ったし、本当にばくだんがおちてくるよう
にかんじて、とてもリアルだったので、せんそうがどれだけこわいか分かったし、もっと、もっと、平和な世
界になってほしいと思いました。

女子学とがあんな思いをして戦争をしていてとても悲しかったから、もう二度とおかしたくないと思った。

はじめて、ろうどくげきを見て戦争がこわいのはわかっていたけど、こうやってリアルで見ると、戦争で苦し
んでいた人たちの気持ちが伝わってきました。
今回は、オンラインだったけど、6年生になったら近くで見たいです。

オンラインではじめて、お芝居を見て八人で何人ものやくをやっけていてすごいなと思いました。今年はコロ
ナウィルスでオンラインの上演でしたが、来年はきてくれて実際に見てみたいなと思いました。

女子学徒たちの沖縄戦のことについて知れて良かったと思う。

ぼくは朗読劇を見て、戦争はたくさんの人を殺してしまうので改めて戦争はよくないと感じました。

声が大きくてびっくりした。

マイホームを持ってしあわせに暮らす。

声がすごく大きく、はっきりした感じで聞き取りやすかったけど、生で見なかったなと思いました。

はじめておしばいを見て、少ない人数で多くの人の役をしていたので、すごかったです。またみたいです。

16 ぼくは、初めての朗読劇で一番すごいと思ったのは台本を読むときの声です。
なぜなら、声の大きさや高さで登場人物の感情を表しているからです。

感想や意見 … 4/8

96 件の回答

大きな声でその場面に合った読み方をしてほくには、まねができないと思いました。それとオンラインと
いうので、いつもとちがってよかったです。

あのは、頭が真っ白になってなにもいえなくて、すみません。

でも、とても、はくりよくがあつてすごかったです。朗読を聞きながら想像すると目にうかびあがつてくるよう
にすごかったです。

私は戦争のことを勉強をしましたが、やはり、思う事は戦争を二度としてはいけないということが今、一
度ふり返って分かりました。

朗読劇とてもすごかったです。ありがとうございました。

戦争は多くの人々の命をうばうので、とてもこわいので、もう二度と戦争はしたくないし、させたくないです。

私は「女子学徒たちの沖縄戦」を見て、朗読劇だったけど、声の大きさやちょっとしたえんげきを工夫してい
て、はくりよくがあつて、そのときの様子がすごく分かりました。また、ドアのたたく音、あける音も声でやっ
ていて面白かったです。そして、戦争がはげしくなつて、ばくだんが落ちてくるときや大切な人が死んでしま
ったりしたところを見たとき、すごく心がいたくなって改めて戦争のおそろしさというものを知りました。今日
は、私たちのために朗読劇をしてくれてありがとうございました。

今日は、朗読劇を見て、私は、あらためて戦争のおそろしさやこわさをしりました。そして、一人が一人だ
けのやくをしないで、一人がいろいろな人のやくをしていたので、とてもびっくりしました。

朗読劇なのに、すごい劇団四季みたいなかんじで、とってもすごかったです。

コロナウィルスのえいきょうで、じっさいにみることができなくて、zoom できて、じっさいにみてみたかった け
ど、またいつか、竹富で朗読劇をきけるのを、とっても楽しみにしています！
本当に今日は、5・6年のためだけにありがとうございました。

今日は、躍動する朗読劇女子学徒たちの沖縄戦の劇を見せて下さってありがとうございます。
私は戦争はもう起こしたくないと思っていたけど、沖縄で本当にあった出来事だと思いました。
今日は東京から zoom をしてくれてありがとうございました！来年はぜひ竹富に来てください。

8人という少人数で朗読劇をしていたけど、とてもはく力のある劇でビックリした。

1人たくさんの役をしていて、スゴイなーと思いました。

今日はありがとうございました。

今日は「女子学徒たちの沖縄戦」という朗読劇を見て、今の看護師は大変で、医師のお手伝いなどいろい
ろしています。戦争時代はもっと大変で、命がけでかん者をおせわ、守りぬいていることを知りました。

演技に関しては、声の強度や演技を工夫していて、リモートでも迫力を感じました。人が亡くなる時の悲し
さ、その時の感情もじわじわ伝わりました。戦争はだれでもこわいけれど、積極的に行動し、「兵隊たちを
助ける！」というやさしさ、勇気がすごいなと思いました。絶対、負けるとわかっていても、最後まで生きる
という言葉がとても好きでした。

みんなが幸せに生きていけるのは、勇気、生きるという目的があったからこそ、今の平和な世界を作るこ
とができたと思います。

今回は、私たちのために朗読劇をしてくれてありがとうございました。

17

感想や意見 … 5/8

96 件の回答

8 人だけでたくさんのをくをえんじていて、すごいと思った！
すぐく見えてわかりやすいお話でした。
本当にありがとうございました。

朗読劇はとても良かった。しかし、途中で「武村 豊さんのお話」がもう一つの違う話になっていたのがざんねんでした。

とても効果音とかも上手で、しばいも上手に、おもしろく、たのしかったです。

沖縄戦では、軍人だけではなく、生徒なども、かりだされ、その病院での出来事などが、声や手ぶり、表現されていて、とても感動しました。
また、体験者のお話で、一人聞けないので次に聞きたいです。

オンラインでもはくりょくのある声で、鳥肌ができました。次は本人とあうのが楽しみです。本人と会う時を楽しみにしたいです。
次はもっと、はく力があるときたいしたいです。

戦争時代のことを声などがあり、聞いてみて、実際はもっとこわかったんだろうなと思いました。
戦争体験者の話もとてもおどろくことが。

朗読劇を見てリモート画面越しでも分かる、迫力、熱意にあっとうされました。
原爆や戦争マラリアのことについては、教えてもらっていましたが、女子学徒の沖縄戦について初めて聞き、大変さやつらさを感じることができました。
機会があれば、次は生で聞いてみたいです。

私は沖縄戦や戦争について、知っているつもりだったけど、新たに知ったこともたくさんあったので知れて良かったと思います。
これから二度と戦争を起こしたくないと改めて思いました。
ありがとうございました。

とっても昔のことが想像することができて、とってもよかった。最高だった。

リモートだったため、音が反響したり、ノイズ判定等で聞こえずらかったです。
劇自体ははくりょくがあって、すごかったです。
今度は生で見たいです。今回は本当にありがとうございました。

今回の朗読劇を聞いて元々知っていたり聞かされたりしていたけど、改めて戦争は、辛く何にもならないし、聞いて、心苦しくなりました。
やっぱり、この悲しいことを、後世にも伝えなきゃいけないし、この間違いを二度とくり返してはならないと思いました。今日はこんな状況の中、中継で自分たちのために朗読劇をしてくれてありがとうございました。

感想や意見 … 6/8

95 件の回答

「休みなく、3 か月何十万発という、ほうだんをうつ」から、ものすごい数のばくげきを受け、生きのびた人達はスゴイと思った。
「みんな気持ちが暗いから歌を歌おう」しずんだ感じを歌で明るくしたのが、いいなあだったと思った。
東京→沖縄県西表島へわざわざありがとうございました。
生ではなく、少し残念でしたが、リモート、YouTube 生放送と色々工夫して朗読劇をしてくれて、ありがとうございました。

私は、幼い時から戦争について学んできたつもりでしたが、今回の朗読劇をみて、自分は常にしんぱく数が増えました。
劇でつたわるあやまち、戦争のおそろしさを感じすぐかなしい感情になっていました。今回の劇を見て、私はまた戦争について、もう一度知ろうと思いました。戦争について知り、過去のあやまちを未来へいかせるようにしたいです。

声がリアルだったので今、おきている事のように思えた。
銃の音までも声でやっているのに聞いたことはないけど本当の銃の音のようでビックリした。
子どもに木が刺さっているときの子どもが「殺してくれ」といっているのが心苦しかった。この子のような年の頃は俺なんて超絶 happy だったよ、とかかわいそうに見えてくる。

沖縄戦のことについては、これまでにけっこう習ってきたけれど、今回、朗読劇ではじめて知ることなどあったので、これから、学習にいかしていけるようにしたいです。次は西表島で見たいです。
本当にありがとうございました。

今日は、めっちゃ勉強になりました。そして、うしろのやつもめっちゃ金色でかっこよかった。そして、だれがなにをいってるのかもわかりやすかったです。
そして、もう一度くわしく、戦争のことをしてよかったです。

小さい時から沖縄戦について、学習していたけど、やっぱり戦争のことについて知るの辛いなと思いました。
また、朗読劇を初めて見て、とてもおもしろかったです。
次は、目の前で朗読劇を見れたらいいです。本当にありがとうございました。

私は女子学徒たちの沖縄戦について、本や新聞、文で知る、学習する機会があり、沖縄戦についてけっこう知ってるつもりでしたが、それを声で聞くことで、いろいろ考えさせられました。また、実際に戦争を体験した人のお話もあってわかりやすかったです。また、より、当時のことを知ることができました。
良い体験になりました。ありがとうございました。

りんじょうかんがすごかったです。話では聞いていても、朗読劇だと迫力が凄くて驚きました。
リモートでもかっこよかったし凄かったけど、もっと間近で見たいと思いました。
沖縄戦では、何十万人という人が亡くなっていて、「昔のこと」ですませてはいけなと強く思いました。
未来を担うのは自分達で未来をつくるのも自分達だから戦争がなく、みんなが笑えるような未来にしていきたいです。
ありがとうございました。

感想や意見 … 7/8

95 件の回答

回想部分が数回出てきて、それぞれ感情が変化していくのがすごかった。

戦争体験者の話が何回も入ってきているのが、生々しく更に感じる事ができた。今までは、文、読んで、知識を得て来たけど、今回は耳・目を使って知り、今までよりもっと詳しく、はっきりと戦時を知ることができた。

見る事ができてよかった。

いろいろむずかしい場面もあって少し驚いたりした。

過去について知らないといけない。

見る事ができてよかった。いろいろむずかしい場面もあって、少し驚いたりした。過去について知らないといけない。

今日、初めてオンライン上演で劇を見て、東京から西表まで、けっこうな距離があるのに、すごい迫力で近くでやっているような気がするほど、とてもすばしかったです。沖縄本島の地上戦のことはあまり知らなかったのも、とても勉強になりました。

朗読劇を見て、お芝居をしている人たちの迫力がすごくて、圧倒されました。

平和学習はよくするのですが、朗読劇という新しい視点から学べたことで、文章だけでは伝わらない、その人の細かい心情や言葉の重さなどが伝わって、改めて戦争の苦しさやひきかえを感じる事ができました。自分はもう3年なので、来年は生で見ることができないのですが、機会があったら見てみたいと思いました。今日は本当にありがとうございました。

沖縄戦について知ることができ感情移入できた。

戦争の悲しさなどが分かった、また二度と起こしてはいけないと思った。

朗読劇を見て私は沖縄戦のことをあらためて学びました。

朗読劇を見て「死ぬのが怖い」といっていたのに「お国のため」ということで、がんばることのできた女子学徒たちはすごいと思いました。

また、対馬で家族を無くして悲しむこともできないまま女子学徒に入ったりする人もいて大変だったと思いました。

味方を殺さないといけなくなったり、まだ息のある人を見過ごすしかなかったりして、つらかったと思いました。

また、こんなことをくりかえさないようにしないといけないと思いました。

声や少しの動作で戦争の恐ろしさが伝わってきた。私は沖縄に住んでいるので、実際体験された方のお話を聞いたり、また授業でもたくさん学んできた。しかし、知っているようで知らないことのほうが多く、今日の朗読劇を通し、初めて知ることはいくつかあった。

戦後から75年ほどたち、戦争体験者も少なくなっている。私は体験してはいないが、聞いたこと学んだことを次世代へ伝えていかなければならない立場にいる。恐ろしい戦争をまた引き起こさないように、現在のような平和で明るい暮らしがいつまでも続いてほしい。

感想や意見 … 8/8

95 件の回答

お芝居だと、実際自分がその場にいるようで、すごく苦しくなりました。自分は何も知らないんだなと感じました。小学生の頃からずっと学習していてもあの日のすべては私にはまだ分かりません。「大切な命と引きかえに私たちは平和を手にすることができた」この言葉通り、戦後から75年間、この平和を守ってきた人達がいて今、私たちはあたりまえのように平和がそばにある。これをあたりまえとは思ってはいけないと感じた。私たちがもっと知って、次世代に語り継がなくてはと思いました。視野を広げると平和というにはまだまだ先のことだと感じますが、今、身近にある平和を地道に長い時間をかけてでも世界平和とつながればいいです。

この人数で、これだけの役を一人一人がこなしていることに感動しました。

声のちょうしや言葉のいいまわしがとても素晴らしく、生で見たかったと思いました。1つの場面で、1人で2人の会話を成立させていたところは、声だけ聞いていると別の人かと思ってしまうほどの変わり方で、正直、びっくり半分、感動半分でした。オンライン上演ということで、少し聞き取りにくいところも、声の大きさと、ハキハキとした話し方でカバーしていてすごかったです。

空襲や爆弾の破裂音などが、全て人の声で表現しているのも、実にダイナミックでより戦争のおそろしさが伝わってきました。

何よりも、台本のセリフにとらわれずに、1人1人が自分なりの朗読をしているということに尊敬と感動の思いがあふれてきました。

今回はコロナウィルスで大変な時期、私達のために朗読劇を上演していただき、本当にありがとうございました。

とてもつらい内容なのに楽しい時間を過ごすことができました！

初めて朗読劇を見て、役になりきって演じている姿がすごいなと思った。

今までは、戦争マリアのことをよく学んでいましたが、女子学徒隊のことは今回初めて知りました。一番最後に何百万という大切な大切な命と引きかえに私たちは平和を手にする事ができたこととあり、この平和な世の中はあたりまえのものじゃなく、とても大切なもので、多くの方に感謝すべきなのだなと思った。話にもあったように、戦争でも誰でも夢があり、その夢を叶えられず死んでいってしまうこともあったため、私たちは自分の夢や命を大切にしていけるべきだと思った。

また、勉強ができた、あたりまえに過ごせることに感謝し、自分の夢を実現させたいと強く思った。

私ははじめて朗読劇を見て話だけでは伝わらない音、悲鳴などを感じられて、すごくいい経験になりました。また、途中に実際に戦争を体験した方の話も聞くことができて、たくさん学べました。

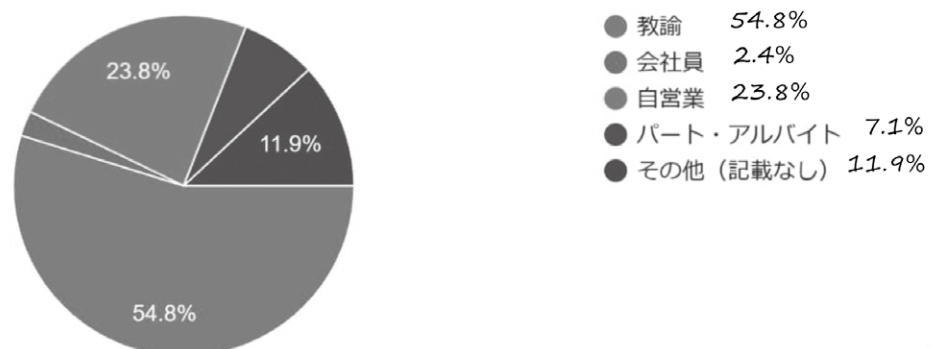
戦争の悲惨さを知れた。平和学習も真剣に取り組む。75年前にあんな事があるなんておどろいた。

戦争時代のことを声などがあり、聞いてみて、実際はもっとこわかったんだろうなと思いました。

戦争体験者の話もとてもおどろくことが。

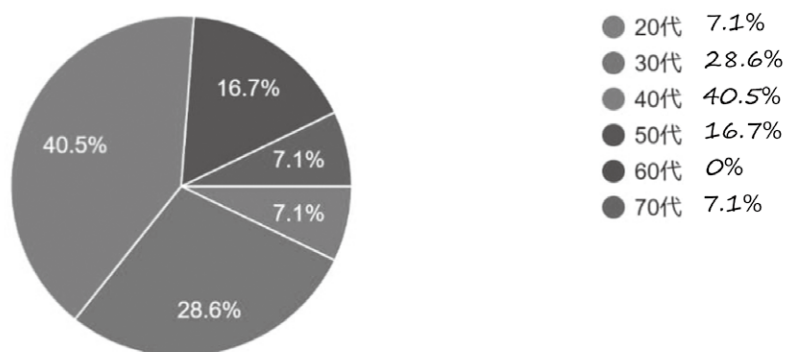
職業

42件の回答



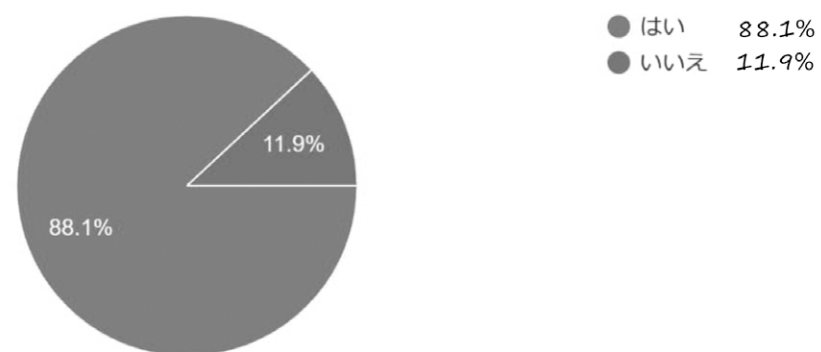
年齢

42件回答



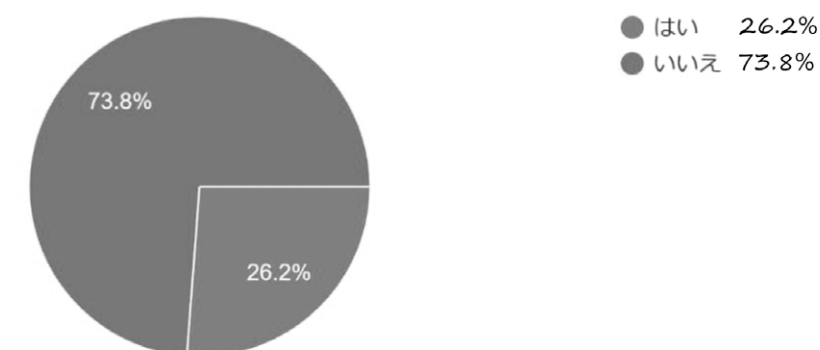
演劇に興味がありますか

42件の回答



島の演劇を観たことありますか

42件の回答



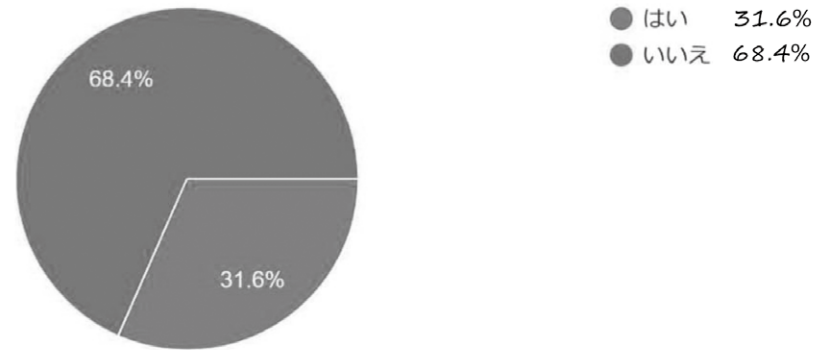
どんな演劇でしたか

11件の回答（18種類）

オヤケアカハチ	4件
沖縄の組踊（二重敵討）	3件
歌舞伎	1件
竜宮物語	1件
大衆演劇（方言）	1件
平和劇	1件
学園劇	1件
ハンセン病について 人権 差別	1件
ハテルマハテルマ	1件
千鳥	1件
喜劇	1件
劇団四季のミュージカル	1件
劇団風の子（約10年前に全校児童で観劇した）	1件

教育に演劇を取り入れていますか

38 件の回答



その目的を教えてください … 「はい」と回答

12 件の回答

表現力や人前で発表することで自信をつけさせたいから。

表現力の育成、人前で発表することができるように。

相手に伝える表現力やコミュニケーション能力を育てるため。

表現力を培うため。

色々な経験と幅広い世界を見て感じてほしい。

表現することの楽しさを味わえた

島の生物を登場させた 自然を大切に 感じてもらうための人形劇

色々な経験と幅広い世界を見て感じてほしい

主に朗読を通して、具体化、劇化で表現しながら読み取る(想像できたか)力を育成するために。

演劇ワークショップの興味がある。自然な自己開示が生まれやすい。

子どもたちの表現力を育成する機会として、又、表現する場として。

観て楽しい、普段みれない子どもたちの様子を見ることができるから。

その目的を教えてください … 「いいえ」と回答

4 件の回答

物語の内容を理解するために少しだけの演劇ならできるが、昔のような学芸会はやるための時間を確保できないので。

教職員でないのわからない

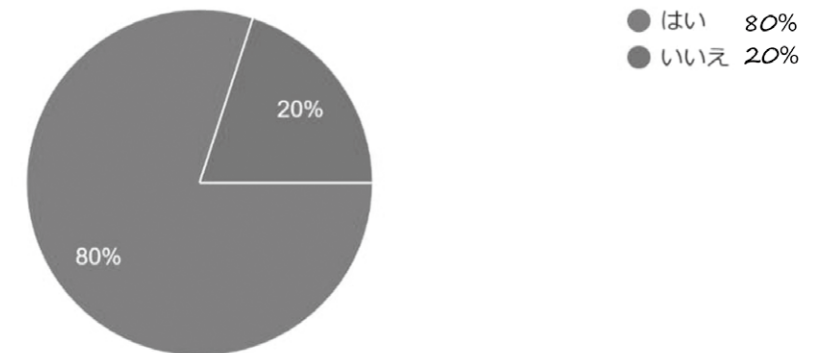
あまり観劇のことを知らないから。

竹富に来てからは取り入れてない。指導法が難しい。

以前の学校では学習発表会で十二支の劇をした

今後、教育に演劇を取り入れていきたいですか

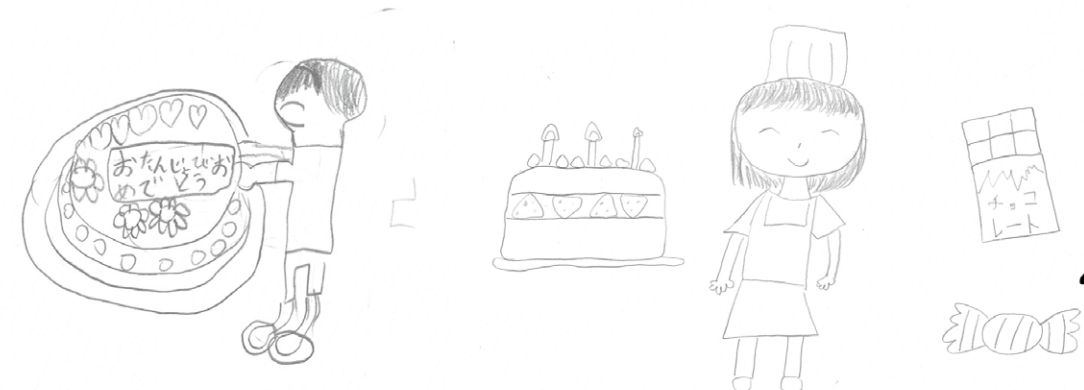
35 件の回答



< 子どもたちの絵 >

• あなたの夢を、自由に書いてください。文章でも絵でもなんでもいいですよ。

ケーキやさんではたらくこと ケーキ屋さん。



その目的を教えてください … 「はい」と回答

26 件の回答

- 大勢の場でも自分を表現する力を養いたいから。
- 表現力の育成、人前で発表することができるように。
- 相手に伝える表現力やコミュニケーション能力を育てるため。
- 表現力の育成につながると思うから。
- 演者の方の表現に直に触れる事で、子ども達の感情が育てられると思うので。
- 目の前で演劇をみれたら、感動すると思うので。
- 演劇を見ているんな事に興味を持ってほしい。
- 色々なものに興味をもってほしい。
- 島の娯楽、感性を育てる、考える力、想像力を育てる。
自分もやってみたいという興味関心を持ってもらう。
(公共の場での)観劇時のマナーを覚える!!
- 楽しんで学ぶことができる
- 教科書とはちがう、臨場感ある教材だと考える
- イメージを喚起する力が大きい。感動を共有できる。
- 子どもたちの感性を高めるため
- 色々なものに興味をもってほしい
- 鑑賞の機会がないので、あるのであればぜひ体感させたい
- 主に朗読を通して、具体化、劇化で表現しながら読み取る(想像できたか)力を育成するために。
- 子ども達の表現力(伝える力)の向上。
- 演劇をすることを通して、子ども達に表現力と自信がつくからです。
- 演劇ワークショップの興味がある。自然な自己開示が生まれやすい。
- 学芸会のように大げさな演劇ではなく、表現力を育成する機会の1つの手立てとして考えている。
- 生のパフォーマンスを観せてあげたい。
- 教科書を読むだけでなく、様々な角度から学び、考えてほしいから。
- 教科書教材で演劇として上演されているものがあるなら理解を深めるために活用してみたい。
- テーマが伝わりやすい。
- 画面上では伝わりにくい空気感とか匂いとか振動とかから伝わる感動があると思うから。
- 楽しいからです。

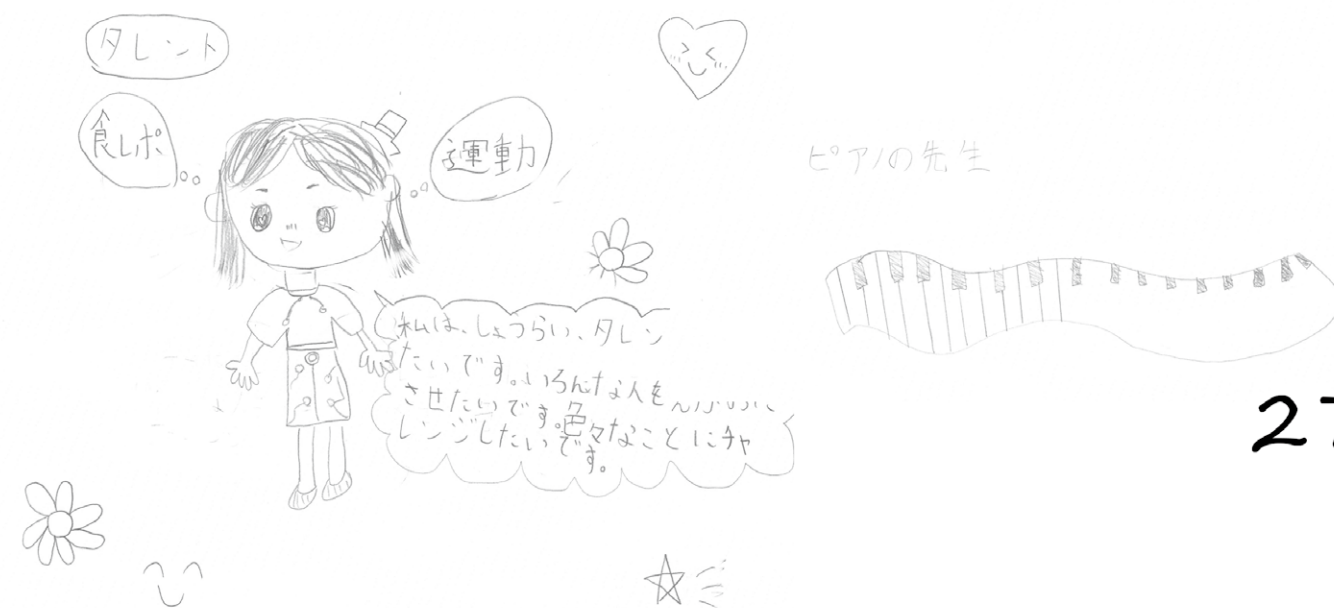
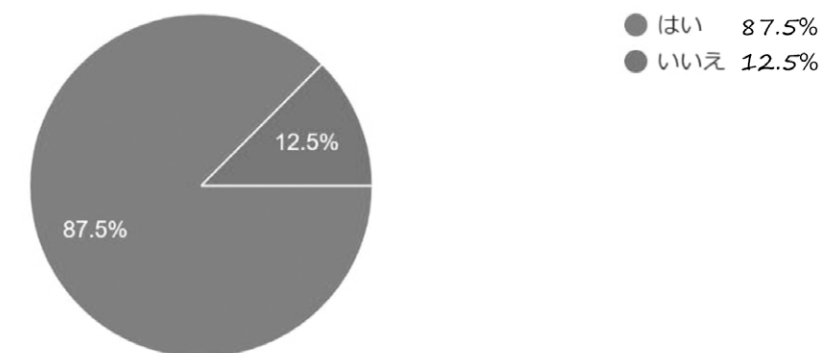
その目的を教えてください … 「いいえ」と回答

5 件の回答

- 技術的にも時間的にも厳しいです。
- 内容の進度的に取り入れられるという保障がない。
- 演劇を通して学ばせたいから。
- 現在も計画されているから。
- あまり観劇のことを知らないから。

平和教育を行っていますか

40 件の回答



どのような平和教育を行っていますか 「はい」と回答 … 1/2

35 件の回答

平和月間(6月)でパネルや平和に関する本を読む、講話を聞く。

平和に関する講話、沖縄戦の写真や本を見る。

平和祈念館見学、戦争に関するビデオ視聴、戦争体験談を聞くなど平和の尊さについて学ぶ授業を実践。

沖縄戦について、戦跡めぐりなど。

戦争体験者の話を聞く。

平和祈念資料館やその地域の史跡等を見に行ったり、調べたりして、新聞やパワーポイントにまとめ発表会などをする。

道徳のなかで。

戦争に関するお話を聞いたり

戦争はおそろしい事を伝えています。

6月の平和月間ではパネル掲示や読み聞かせなどを行っている。

体験者による語り、読み聞かせ

教職員ではないので詳しくは分かりませんが、子供に聞いたら、平和月間(6月)に戦争(沖縄戦)に関する本を読んだりしたそうです。

例年、学習発表会で6年生が平和劇をやっています。(今年はコロナで中止)

忘勿石で慰霊

戦争マラリアの紙芝居を上演

子どもたちと平和の歌をつくり発表した

フィールドワーク 戦跡巡り

八重山の小中学校や地域で平和の紙芝居等上演

歴史教育

お年寄りから聞いたことを口伝で話している。

地域の資源(忘勿石碑、八重山平和祈念館等)やフィールドワーク、講演会の実施

どのような平和教育を行っていますか 「はい」と回答 … 2/2

35 件の回答

平和月間を設定し、パネル掲示や平和集会、道徳での指導

八重山諸島、地域の戦争についてフィールドワークや語りべ

生徒会や担当教諭が計画する平和集会、それに絡めた道徳

朗読劇、平和学習、講話 etc

学校での平和教育を通して行っている

平和文学の教材で、自分の考えをもちながら読む活動がある。

マラリア、沖縄戦

沖縄戦や戦後行ったことなどの学習(宮森小のことなど)

沖縄戦や八重山マラリア、忘勿石など郷土で起きたことを中心に3年サイクルで実施。フィールドワーク、朗読劇など。

慰霊の日の意味や沖縄戦について。

集会、読み聞かせ、道徳や特活でみんななかよく(低学年なので)していこうという内容のものを取り入れている

平和に関する音楽や地域で起こった戦争についてのお話を意識して取り組んでいる。

戦争と平和に関する本を読みながら、戦争と平和について考える。

沖縄戦について、環境(地環現模)の平和について、今の自分たちのくらしの平和について等

平和について語り合ったり、平和祈念館へ行ったり、佐喜真美術館で沖縄戦の図を観たり、世界の紛争地のニュースを見たり、島のお年寄りから戦争体験を聞いたりしています。

慰霊の日に向けての学習

戦争、国際問題について考える道徳の授業や教科書に含まれる国語の戦争教材を通して意見文をかかせ、平和について考える時間を設けた。

どのような平和教育を行っていますか 「いいえ」と回答

1 件の回答

ニュースなどで目にしたり耳にしたりした時に、怖いね、嫌だね、など言葉をかけるようにしている。

今後続けていきたい、新たに行いたい平和教育を教えてください … 1/2

29 件の回答

可能な限り、沖縄戦について知る機会をもうけたり、平和について考えていきたい。

沖縄戦体験者、又は、継承者の講話

子ども達から平和を発信する取組

沖縄戦については語りついでいく必要があると思う。

平和の大切さ、命の大切さ、家族など 人権 SDGs

広島などへ行く機会を作りたいです。

体験者の話を聞かせたい。

写真、地図、絵を入れた年表作成など(自分の祖父母がどこでどんな時にどんな体験をしたか)

忘勿石で慰霊を全校生徒で。

今、続けているのを継続したい

戦争体験者のインタビュー、映像、アーカイブを活用した平和教育

絵本、紙芝居を作り、読み聞かせて日本各地へ知られざる島の戦争マラリア禍を伝えたい。島の子ら、住民が伝え手となる。

これまでの活動を継続したい

戦争体験者の講話

同じような内容を徹底して伝えることに意味がある。(これまでと同じ活動)

・あなたの夢を、自由に書いてください。文章でも絵でもなんでもいいですよ。

数しとアイドルです。



30

今後続けていきたい、新たに行いたい平和教育を教えてください … 2/2

29 件の回答

過去の出来事を学びそれを後世、又は海外に発信したという意識付け。

持続可能な平和な世の中づくりの方法について考える授業や、マンネリ化を超えて続けられる平和教育は模索中。

郷土だけでなく、なぜこの戦争が起きてしまったのかを大観できる学習。

命の大切さについて、一緒に考えていきたい。

日本の戦争だけでなく、広く国際的な課題にも目を向けたい。

オンラインが色々できるようになってきた今、各地域で行われている平和についての取り組み等を子ども達同士、交流する場を持てたらいいと思う。

修学旅行でのフィールドワーク

沖縄戦について、環境(地環現模)の平和について、今の自分たちのくらしの平和について等

島のお年寄りから直接、戦争時代のお話を聞きたいです。体験者がいなくなってしまうまでは直接聞ける場などを子供達につくってあげたいです。

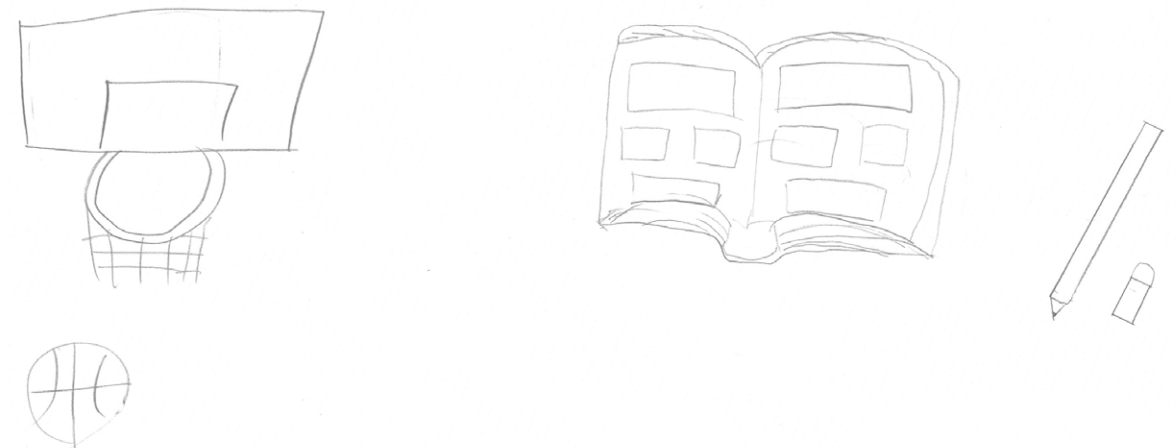
現在、現実におこっている戦争や平和について考える。

PPを活用して、平和についてまとめ発表する活動を行った。他校と交流する、地域に発信するなど、学校外での「伝える」活動をしたいと思っている。

色々な事を子供達には知って欲しいが、自分には子供達に伝える知識がない。

私自信も戦争が身近ではないので共に考えて学んでいきたいです。

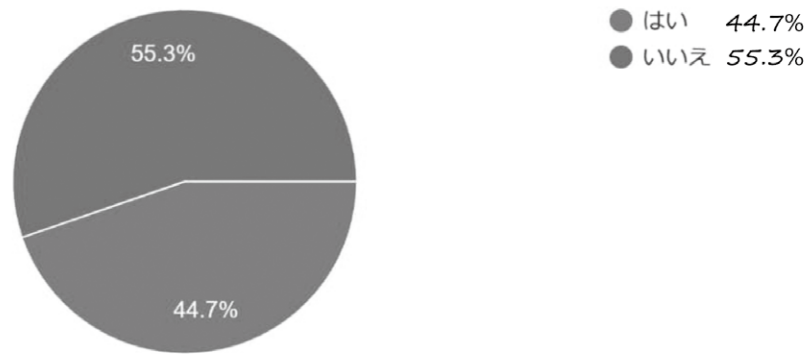
ぼくはしょうがいバスケットボールの選手になりたいです。マンガ家



31

島の歴史教育は行っていますか

38 件の回答



どのような内容ですか … 「はい」と回答 (いいえの回答内容なし)

15 件の回答

炭坑跡等の講話を聞いて学んだ。

マラリアについて、偉人についてなど。

炭鉱、マラリア
まだ勉強中(開拓など、西部の歴史)

お年寄りに聞いた話を伝えること。戦争、開拓、自然の活用法、昔の食の伝承

開拓移民としての歴史、戦中戦後の先人の教育(学校)への思いなど

西表島再開発と位置づけ 3 学年で学習している。

総合学習で「西表島再発見」

忘勿石について(平和)地域の歴史について

総合学習の時間で

総合的な時間などを中心に行っています。

総合の授業で島の人に話を聞きに行く。

種子取祭、結願祭の意味確認

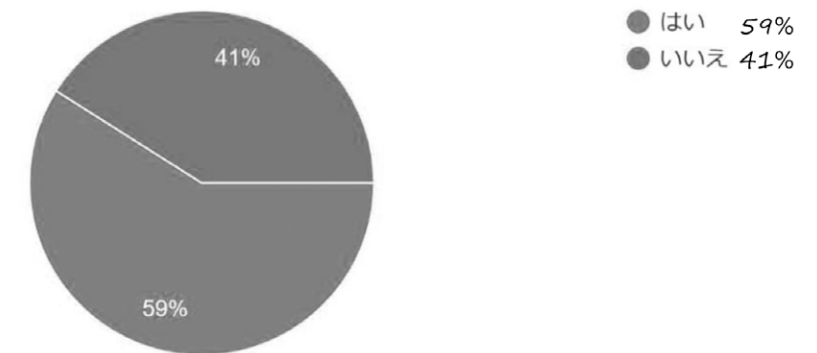
島人のインタビューを映像にして観せている。

お年寄りをまねいての講話。

曾祖父・祖父母や島の先輩からお話を聞いたり。

島の伝統芸能や方言の伝承を行っていますか

39 件の回答



・あなたの夢を、自由に書いてください。文章でも絵でもなんでも構いませんよ。

ぼくの夢は、プロ野球選手です



私は、びょうしや、植物にかんする仕事につきたいです。
一番は、びょうしになりたいと思っているけれど、花をいけることなど、
植物が好きなので、植物に関係する仕事にもつきたいと
思います。



将来は声優になりたいです。

そして、有名な声優さんたちといっしょに

アフレコしてみたいです。



どのような方法で伝承されていますか … 「はい」と回答

22 件の回答

- 三線、おどり教室など。エイサー体験
- エイサーなどを経験させている。
- 狂言、わらべうた、かぞえうた、遊び
- 三線、婦人会活動で
- ラジオ体操の方言もの 島言葉の昔話集 校歌を島言葉で
- 村芝居を作り上演した。DVD にした。住民全世代参加で開拓劇。
- 地域行事や学校行事(運動会、文化祭)で取り組んでいる。
- 地域の文化行事
- 総合学習でインタビューなど。
- 地域活動の中で伝承されている。
- 地域によって差はあるが、地域の伝統行事を通して。
- 文化祭
- PTA 行事で、てーどうんむに大会に向けて、保護者や地域の方から方言を学ぶ
- 夏休みに方言学習をしたり、PTA で方言大会に取り組んでいる。
- 地域の方から教えて頂いた方言を子ども達と一緒にカードにする取り組みを行っている。例年 PTA 行事で「テードゥンムニ大会」を行っている。
- 種子取祭
- 祭りにおける芸能など
- 毎年行われる種子取祭で芸能を学び、テードゥンムニ大会で島の言葉を学んでいます。
- 方言の発表会
- 種取祭への参加 テードゥンムニの活用
- 祭事行事や DVD など
- 祭事行事に参加したり...方言は難しいです。

34 どのような方法で伝承されていますか … 「いいえ」と回答

1 件の回答

島のことをまだよく知らない

今回の「女子学徒たちの沖縄戦」に興味がありますか

40 件回答



今後このような事業にご協力いただけますか

39 件の回答



・あなたの夢を、自由に書いてください。文章でも絵でもなんでもいいですよ。



今後このような事業でどのようなことを求めますか

27 件の回答

沖縄戦にかかわる島での実態を子ども達に分かりやすく伝えてほしい。

その島の良さや歴史を伝えてほしい。(教師も島出身者はほとんどいないので)

実際に来校していただきたい。

5・6月の慰霊の日などの前

沖縄に住んでいるので、沖縄戦を少しづつで良いので深く学んでほしい。

歴史教育の伝承

参加型(今は難しいかもしれないが)言わせる、賛成の所に手を挙げさせる、歌う

子供達に体験型のものを

島の人も参加できる演劇

市民会館等で児童・生徒が劇場へ足を運ぶ形がいい。

(コロナ感染症が落ち着いた後)受け入れの学校との調整・環境の整備

演劇などに接する機会が少ないのもっと観たい。平和のことも

ネットを使った授業

島民が受け身でいるだけでなく、自らの創作に活かせるようなワークショップや指導もありがたい。

子どもたちの情操教育

このような学校訪問。

体験者が減っていく中で、学校でも生の声や様子を伝えていくには限界があるので、当時の様子のリアルな姿を伝えたい。

平和について今後私達がどう取り組まないといけないかを求めます。

朗読の次は演劇を見せたいです。国外の平和劇との対比。

各離島での沖縄戦の劇に広げてほしい。

島外になかなか出ることができない子ども達なので、このような取り組みがあると多くの学び、刺激を得ることができます。こういう機会があればできるだけ参加させてあげたいです。

参加型の演劇ワークショップ

体験(談)したことなど「事実」を伝えるためのこと。

実際に劇を島で観たいです。

毎年、事業があると良いですね。

離島やへき地は文化に触れる機会が限られているので1回でも多く、このような事業を展開して頂きたい。

今回はコロナ禍でのオンライン上演ですが、ぜひ足を運んで上演していただきたい。

知らないことを教えること。

島の児童・生徒たちへの思いをお聞かせください … 1/2

33 件の回答

自分たちの住む西表島の良さを感じ、15の春をむかえた時に自分の古里にほこりをもち旅立ってほしい。

自分たちの住んでいる島の良いところ、守っていくべきことをしっかり学んだ上で15の春をむかえてほしいです。

島立ち前に島の自然や文化、伝統芸能をしっかりと学び発信できる子になってほしい。

平和について、しっかり考えていける大人になってほしい。

竹富町、西表島のために、どんどん活躍してほしい！

離島ということで施設やイベント等に限りがあるが、その中で充実した教育環境を与えて色々と体験・経験して島を立ててほしい。

島のことを聞かれた時に何でも自信をもって答えられるようになってほしい。

親世代も内地からの移住者が多数を占め、地域の歴史や伝統を教えられる人は少ない。戦争のことも含め、地域の様々なことを学校・地域協力して子供たちに伝えていく必要がある。

一方で、環境問題や日本、世界の中の沖縄、西表という目線で考える、その中で自分たちがやるべきこと、考えるべきことに気づかせてあげたい。

島のことを知るには外の世界も知らなくてはならない。外に出ないと島の良さは分からない。

平和への思いを強くさせたい

歴史の真実を知らせたい

子どもたちは学校で学び、平和劇や歴史劇を自ら作り上演している。歌やせりふも自分たちで考える。環境についても大人より学んでいる。更にのびたい。

過去の戦争の悲劇はよく理解し、平和を思う心は育っている。

西表島(故郷)の良さをしっかりと感じ守って欲しい。

地域を誇りに思い、良い所を発信してほしい。

離島ということで施設やイベント等に限りがあるがその中で充実した教育環境を与えて色々と体験・経験して島を立ててほしい。

島の児童・生徒たちへの思いをお聞かせください … 2/2

33 件の回答

あたりまえのことができる幸せを自分も含めてかみしめてほしい。

島を誇りをもってほしい。

豊かに暮らして欲しい。

自分の足元の歴史を基本に島外や世界の歴史に興味をもってほしい。

島の歴史、文化に誇りを持ってほしい。

島立ちの前に島のことをたくさん知ってほしい。

平和について多くの視点から考え続けてほしい。まだ終わっていない戦争もたくさんあるので。

世界は広く、色んな人がいるが大切なことは命を大切にすること。

今の平和があることを感謝し、この平和を継続するため正しい知識を身につけさせたい。

素直な子達です。島から出て多くの困難があっても、乗り越えて行ってほしいです。

島を愛し、世界へはばたく人材に育ててほしい。

生まれ育った島のことを誇りに思う心をもってほしい。

自然に恵まれ、コミュニティの中で皆に見守られて元気に育つのは良いですね。

小さい島から広く強い心を持って、大きな世界へと視野を広げて色々な事にチャレンジしてほしいです。

内地からきたからこそ伝えられることを伝えつつ、島で生まれ育ったことを誇りに思って生きてほしい！

沖縄の風景・伝統をこれからも守ってほしい。

色々な事に(スポーツ・文化など)興味を抱いても色々な条件(地理的、人数的など)に制限されて、限られたことしか島ではできないことが残念。

ただただ健やかに…心も体も

いつまでも平和であることが一番。

島をどのように発展させていきたいと思いませんか … 1/2

33 件の回答

守るべきもの(自然や文化)を大切に継承して残しつつ、島の良さをアピールする。

歴史等を知った上で、西表島の豊かな自然を守っていける子どもたちを育成していくことが島の発展につながると思います。

島の魅力を積極的に発信していく！

自然を守りながら農業や観光業を発展させつつ、みんなが暮らしやすい島にしたい。

島だから…と何事にもあきらめたくない！！子供達の可能性を広げたい。

子どもたちが西表の良さに気づき、帰ってくることを、農業や観光業で発展していくこと。

島のことを聞かれた時に何でも自信をもって答えられるようになってほしい。

島外に出た子供たちが、再び島に戻ってこれるような仕事ない、必要。オンラインで様々なことができる今、離島で若い人がどうやって暮らしてゆけるか模索しなくてはならないと思う。

このままでよい

島の人たちの思いを実現する発展

エコを大切にした事業の発展

物や経済中心の豊かさではなく、自然の中で穏やかに暮らす豊かさ

真実を知って平等に過ごせる島、平和な楽しい島

子供が戻りたくなる島になってほしい

島の「自然と共生」「人と人が共に生きる共同体」の価値観をなくさないよう。

お金で何でも買える世界とは異なる、力を合わせる大切な「なつかしい未来」へ

・あなたの^{ゆめ}夢を、自由に書いてください。文章でも絵でもなんでもいいですよ。

・パティシエ



島をどのように発展させていきたいと思いませんか … 2/2

33 件の回答

島の良さを発信できる子どもたちであってほしい。

島の良さ(自然・文化)を生かせる取組の充実。

教育分野での取り組みが多いことが人材へとつながる。

今ある良さを守りつつ、全ての方がより良い生活が送れるように。

自然を守りつつ、共存しながら発展させていきたい。

自然を大切にするような取組を期待。

今ある良さに気づき、多くない町民で自立していける町づくり、人づくりに力を入れて行ってほしい。

豊かな自然と温かな人間関係をそのまま残し、常に注目される場所であってほしい。

守る、自然、文化、伝統を継承していかせたい。

この島の自然と文化を守りながら他者と融合できるように。

リモート×環境教育×観光

島の良さ、自然、文化など島と共存する中でできること。

小さい島だからこそ可能性があるということを発信できるような島づくりができれば良いです。例えば小さなエコアイランド、自然環境に配慮した持続可能な島。

明るく活力ある 自然豊かな島を守ってってもらいたい。

島外の方にも竹富島の事を少しでも知ってもらい、一度、島をはなれた子供達ももどり発展させてほしい。

リモート等を活用し島にいてもハンデを感じさせない情報獲得の構築と実現

発展を求めないです。今あるものを大切にしていきたいです。

平和な島

そのためには文化事業に求めるものはありますか

24 件の回答

その島の良さや歴史を伝えてほしい。(教師も島出身者はほとんどいないので)

各島々の良さを子ども達に伝える取組

子どもたちと同じように地域の方々にも見てもらえるといいと思う。

島ならではの事を経験させていただきたい。

語り伝える、知ってもらう、発信する←持続、継続

海洋教育があるなら、ぜひ伝統、歴史、自然、etc

島の子は本物を見る機会が無い。感受性の強い子供時代に様々なものにふれさせてあげたいです。

たまに観劇の機会を与えていただけるとありがたい。(音楽鑑賞他)

伝統行事を大切にしたい文化事業

その地域の歴史・文化を教材化し、学校だけでなく地域で学ぶ

単発ではなく継続を。「島に与える」から「島から与えられる」に発想の転換を。「島から日本中にむけて」発信できることに力を与えて欲しい。

環境を守る取組

このような活動を今後も続けてほしい。

特になし

もともと文化事業を大切にしている八重山地区です。今ある伝統文化の後継者問題にどう取り組めるか だと思えます。

継承者の確保

各伝統行事を維持させるための何か。

数多くの文化的な要素にふれることができれば良い。(へき地だからこそ...)

対面での関わり OR リモートでの関わり(できることを一緒に考えていきたいです)

「本物」に触れる機会を多く子どもたちに与えたい

エリアで活動、活躍している人をスピーカーにむかえて、お話会などを開いてほしい。

予算が壁で実現できないようなことがないようにしてほしい。都会も離島も教育は平等であってほしい。

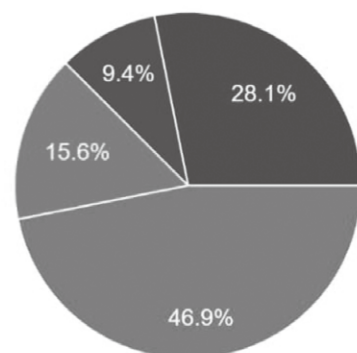
離島やへき地においても、都会との格差がない体制

何が必要で何が必要でないかではなく、つないでいけるサポートが大切だと思います。

求めるものはありません。教育関係者にゆだねます。

職業

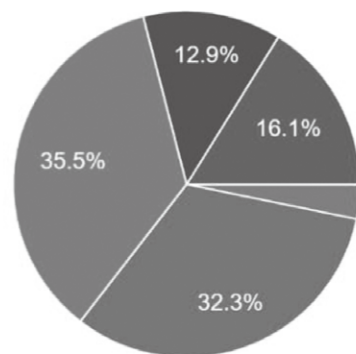
32件の回答



- 教諭 46.9%
- 会社員 0%
- 自営業 15.6%
- パート・アルバイト 9.4%
- その他（記載なし） 28.1%

年齢

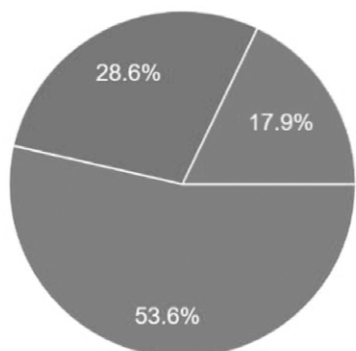
31件の回答



- 20代 12.9%
- 30代 32.3%
- 40代 35.5%
- 50代 12.9%
- 60代 0%
- 70代 16.1%

本公演はいかがでしたか

28件の回答



- 期待以上によい 53.6%
- 期待通りによい 28.6%
- 期待通り 17.9%
- やや不満 0%
- 不満 0%
- 極めて不満 0%

本公演の感想・ご意見 … 1/4

22件の回答

自分がネットで見たものと子ども達がリモート観劇したものは違いましたが、とても臨場感あふれる内容で良かったです。朗読劇だけでなく、マンガのイラストも使用しながら、モノクロの映像、写真、そして「えんどうの花」の歌をうたいながら、観るものをひきつけてあきさせない素晴らしい内容になっていたと思います。人から発せられる言葉による、語り、伝承に勝るものはないですね。

内容などが丁寧でわかりやすかかっていた。しかし、ずっと聞くことがむずかしい子や、想像することがむずかしい子には、演劇の方がよいかもしいないと思いました。来年にはコロナがなくなり、演劇のすばらしさがもっと伝わるといいなと思いました。

朗読劇とのイメージをくつがえす様な迫力と演技を見せてもらいました。「沖縄戦は意味があったのか」「なぜ先祖の人(沖縄の人)たちは、死ななければならなかったのか」子ども達に改めて考えさせた内容になったのではないかと思います。これまで、沖縄戦について色々学んできたが、今回は今の幸せ・平和があることの有難さを身に染みて感じさせるものとなりました。

子供達が、すごいと言って帰ってきました。今後もよろしくお願いします。

朗読劇ということで、どのような感じで戦争を伝えるのか想像が付きませんでした。始めてみると動きや絵、衣装など、何役もこなしている方もいて、とてもリアルに表現していて、迫力がありました。戦争の最中、様々な考えを持ちながら、一人ひとりが懸命に生きる姿が印象的でした。現在の平和な日々感謝したいと心から思いました。

本などで読むのと異なり、生身の役者さんが演じていることで戦争がリアルに感じられました。当時のことを語ってくれるおとしよりも、もう少なくなり子供たちは戦争は遠い昔のことで自分たちとは関係のないこととされていると思います。役者さんたちの迫力の演技で、ふつうの人が戦争に巻き込まれていったことが、少しは理解(実感)できたと思います。オンラインというのは残念でしたが、DVD や映画を観ているのとは違い、リアルタイムで実際に演じて下さっているというのは貴重な体験です。一流の演者さんの演技も素晴らしかったです。ぜひ今度は直接、島にお越しただいて生の演技を見たいです。

本公演の感想・ご意見 … 2/4

22 件の回答

朗読劇と聞いていたが、プロの舞台の立体感、迫力、動きに圧倒された。表現力の豊かさを知った。演じる人の熱い気持ちは、リモートでも伝わった。

子供が「東京から流れてきておどろいた！」「つながっている！」と手をふってよろこんでいた。

戦争の話は聞いてはいても、リアルを感じるのはむずかしい。役者の皆さんが体現してみせてくれた人々、戦場のあり様は、子どもたちにも「自分と同じ人たちが」と感じさせてくれたと思う。ありがとうございました。また観たいです！！

音声に聞き取りにくいところがありましたが、体育館なので、しかたなかったかなと思っています。

団員の皆様の何役(BGM 等)もこなしている姿に「さすが…」という思いです。

コロナ禍で、思いどおりの活動ができず大変だとは思いますが、皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。

沖縄県民は必ず学ぶ戦争の悲惨さ。初めて朗読劇というかたちで戦争について学んだが、知っている内容でも、これまでのものとは感じるものが違いました。

とても感情移入して、自分がその時代にいたら...と考えて鑑賞することができました。大人になっても毎年必ず戦争について学び、平和の尊さを伝えていかなければと思いました。

生徒が感想で述べていたように、島の子たちは西表島、八重山の戦争は知っているが、本島の戦争や今かかえている基地問題など全く知らない。

これをきっかけに、視野を広げ平和について学ぶことができると思う。

本当に素晴らしい公演でした。丁寧に話が書かれていて、当時の情景が見えるような感じでした。生徒たちも感情移入し、涙を流す子たちも少なくなかったです。

スピーカーのせいか、反響する音が耳に痛かったのが少し残念でした。

しかし、当時の証言が合間に入り、えんどうの花をみんなで歌うなどの工夫も良かったです。

素晴らしい時間をありがとうございました。

さすがプロの演者さんたちだなと感じました。場面の情景を思い描きながら鑑賞出来ました。内容もとても良くて、戦争の悲惨さが伝わっただけでなく、戦争に喜んで志願していく人たちの気持ちなども色々考えることができました。

初めて演劇を鑑賞しましたが、臨場感があり、とても良かったです。機会あれば、また観たいです。

(音が大きすぎて、少し耳が痛かったです。)

本公演の感想・ご意見 … 3/4

22 件の回答

セリフが主体の劇でしたが、身に迫るものがありました。演者のみなさんの気持ちさえ伝わってくる朗読劇でした。

住んでいる八重山地区の戦争記録を学んでいるものの、沖縄本島や他地区の状況を知ることができる機会でした。記録や説明だけでは感じるできない、その時、必死に生きていた人々、死んでいった人々の思いや感情をも伝えることができる劇の良さ、劇だからこそ伝えられるものがあると、改めて感じることができました。

企画、準備、実演など本当にありがとうございます。

スピーカー(音響)の音量が大きすぎ、聞き取りにくかったのが残念。

沖縄戦について、語り以外は初めてだったので、とても衝撃でした。

演劇にすることで、よりリアルに当時のことを体験することができました。

また、数人なのに大勢いるように聞こえたりと一人一人のレベルの高さにもおどろきました。貴重な経験になりました。ありがとうございました。

朗読劇と言うことで、予想以上の迫力と演出に驚きました。

子ども達の感想にもあった様に、島の戦争時の様子は勉強しているものの、沖縄本島の地上戦の様子や何の目的で戦争が行われ、命を奪われたのかという点においては意識が薄かったと思うので、そこをわかりやすくリアルに表現していたのでとても良かったです。空襲の音もテープではなく、口で再現したものの本当リアルで世界に空間に引きずりこまれてしまいました。

生でまた観劇できたらと思います。本当にありがとうございました。

「女子学徒達の沖縄戦」が文化庁の委託事業として実現されたことは本当に嬉しく、意義深いと思います。生で演劇を観る機会の少ない離島の子どものために提供された「心のごちそう」だと思います。子どもたちの成長の糧になったことでしょう。(児童、生徒のみならず、地域住民も見られるとよかったかも)沖縄戦の実相を、また、戦争というものの本質をしってもらうためにも、この劇は長く広く演じていただきたいと願います。

何百万人もの命とひきかえに手に入れた平和！それを守りぬくためにも私たちは歴史の真実を語り継がなければなりません。

本公演の感想・ご意見 … 4/4

22 件の回答

ヨーロッパ各国で「芸術は生きるために不可欠のもの」として、アーティストへの支援をいち早く出し、実行しています。

我が国の文化を守り、育てるためにも、国民の生きる喜びのためにも文化庁が今回のように本物の芸術を子どもたちに届ける事業をどんどん実施して欲しいと切望します。

退職教諭

・正直、事業名には「ピピリ」でした。戦略的意味はわかりません。現政府の危うい方向性に危機感をもつ者ですから敏感に反応してしまいます。文化庁たるもの言葉にはもう少し気をつけてほしいものです。

・しかし、そんな文化庁がこういう朗読劇を支援してくれるという事はうれしいことです。すなおに感謝しています。

・そういうなかで「ことば」に敏感な劇団の皆様のご公演(?)は特に私たち沖縄の人間の心を打つものです。舞台に立てなくてもその真摯な声と動きは私たちの想像力をかきたてます。

地元で「八重山戦争マリアを語り継ぐ会」の一員として、朗読劇「ハテルマハテルマ」を市民に観ていただきました。私自身は一スタッフでしたが、歴史の真実を伝え、平和の大切さを語り継ぐことの意義は十分わかっているつもりでしたので、皆さまの熱き思いは遠く離れた石垣島にも伝わりました。大原小・中校の生徒子どもたちも同じ気持ちになったことでしょう。ありがとうございました。

PS「えんどうの花」は島出身の宮良長包の作曲で、中学生の時(61年前)でした。

朗読という手法で、沖縄戦の実相を伝えるすばらしい内容だった。この劇を通して、平和について考える社会を子どもたちに提供できたことに感謝です。

テレビで一部しか見れなかったけど、子どもたちの感想で平和のことが伝わったと思う。

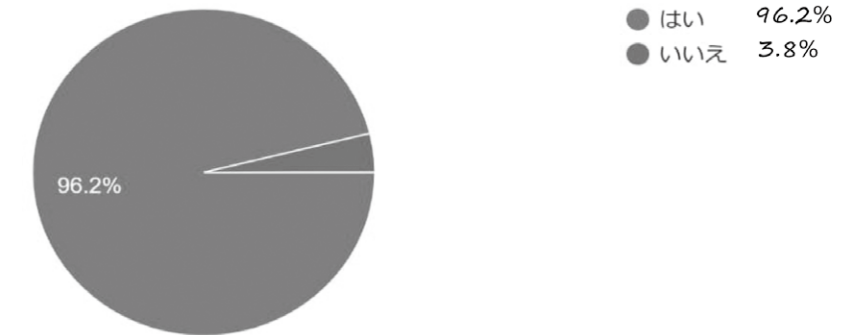
当時の凄惨な様子がとても伝わってきました。戦争での人々の心境が、コロナにも当てはまるものではないかと思いました。

いのちの選択がいつの時代にもあったのかと思うと、本当に胸が締め付けられる思いです。写真は何年か前の慰霊の日に感じたことなのですが、今回また沖縄戦の背景が見え、本当に悲しかったことや辛かったことは中々言葉にだせないものだと思うのですが、伝えてくださった方々に心からお礼を言いたいです。そしてコロナ禍で世界中が人々の言動に敏感になっているかと思いますが、今一度考えてみたいと思います。

わたしも、おじい、おばあのように生きていきたいです。

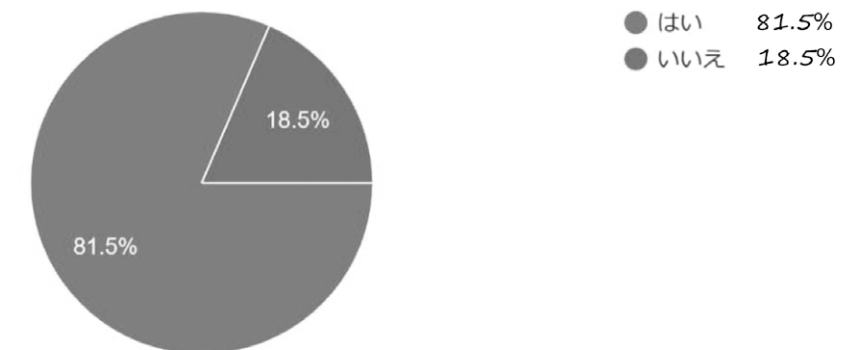
演劇に興味を持ちましたか

26 件の回答



今後、教育に演劇を取り入れていきたいですか

27 件の回答



ゲーム関係



700722-



その理由を教えてください … 「はい」と回答

19 件の回答

人前で演じることの楽しさ、緊張感、表現力を学ぶ。また「観る」ことも学べる。

映画や TV、ネットと違って生の演技を見て体感してほしい。

子供達の心に届く、わかりやすい伝え方だから。

表現力の育成につながると思うから。

勉強になると思うので。

べんきょうになる。

相手に伝える(想い)ことの学習につながるのかなと思ったから。

観るだけでなく、自分たちで平和劇を演じるということも戦争を知る、実感するのに良いと思う。

無いものに形を与え、真実を伝える、感情をゆさぶる、心に訴えるものだと思うから。

子どもたちの心を育てるため

興味をもちました。ただ、教科によっては難しいかと…。

受け持ちの生徒が、感動して涙を流していた。心情(感情)教育が一番必要で大切だと思うから。

起こった事実だけでなく、当時の心境なども伝わって、より内容が理解しやすくなるから。

説明以上に伝えられる思いを感じとることができるから。

自己表現につながりそう。

演劇を見る機会がないので、マナー指導も含め、良いと思います。

(生で観れたらもっと迫力があると思います)

舞台は総合芸術です。学校でも以前はよく取り入れてましたが、今は時間と手間がかかると、とりまなくなっているように思います。本物の芸術を鑑賞することで「生きる力を」養えるでしょう。

「生身」の声、動きで心を動かす機会が今の子どもたちは「うばわれている」からです。

よいものを子どもたちに観せることは大切。歴史の真実を伝えることも。

その理由を教えてください … 「いいえ」と回答

5 件の回答

演劇を行う時間がとれない。

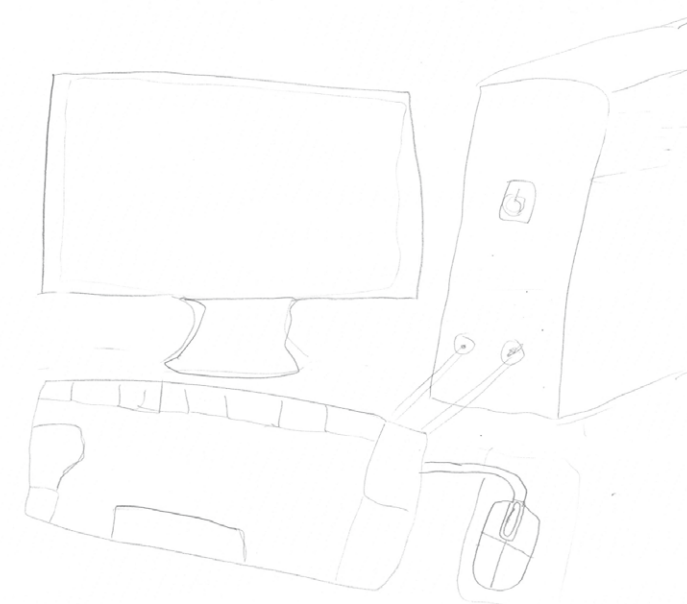
どのように取り入れられえるか分からない。

取り入れたいが、練習時間の確保を考えると厳しいものがある。

検討

指導時間の確保

私の夢は、内装関係の仕事に就くことです。
祖父の内装の店を継ぎ、建設会社につとめている父と合同
事業をしたいです。
また、兄弟で家も建てることです。



今後、続けていきたい、新たに行いたい平和教育を教えてください

18 件の回答

映像、写真、どんなことが、いつ、どうして、どうなったか、時系列の歴史を知らせたい。

人権という視点からの「平和」について考える学習

島の昔(歴史)を知ること必要だが、島、本島、日本、世界と段階をふんで平和について考えさせたい。

体験者の話を聞くことを、ぜひ子どもたちに体験させたい。

外部団体との連携

私のお父さん、お母さん(80代)の方から、色々な話をきいてみたい。

島の歴史をもっと詳しく、米軍がいた時代のこととか、爆弾が落ちたこと、橋をかけたこと、物資の供給、ベトナム戦争時に中継地になったこと、知っている人がいるうちに。

西表島での戦争の実態を子どもたちと一緒に学んでいきたい。

通り一遍の平和教育ではなく、もっと生徒児童が自分が考えたり体験できるような(平和劇などもそれにあたる)内容だと良い。また、沖縄戦だけでなく、世界中で起こっている戦争や紛争などにも目を向け、今現在ある平和もあたり前のことではない、今も考え、行動し続けていかなくてはならないことがあると考えさせたい。

忘勿石(わすれないし)戦争マラリア禍について

体験者の講話

体験者の話を聞く。

郷土の歴史に対する学習に加え、国際理解を充実させたい。

フィールドワーク

75年築いてきた平和の持続と発展についての教育

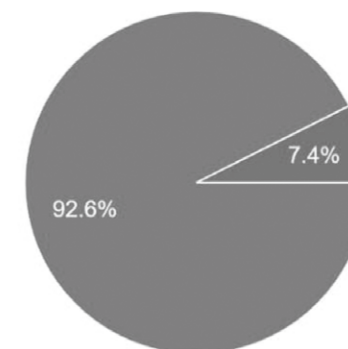
これまでの取り組みを充実、継続したい。

近隣諸島との友好につながるような教材を選んで実践してほしい。

平和教育月間だけでなく、日常的につたえてほしい。

今回の「女子学徒たちの沖縄戦」に興味を持ちましたか

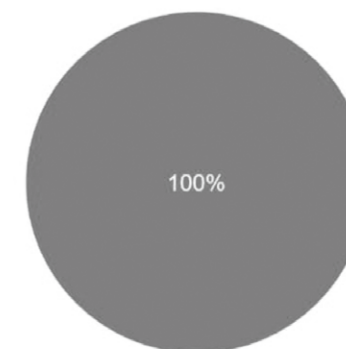
27 件の回答



● はい 92.6%
● いいえ 7.4%

今後このような事業にご協力いただけますか

28 件の回答



● はい 100%
● いいえ 0%



今後このような事業でどのようなことを求めますか

15 件の回答

リモートでもよいので、毎年といわず、半年～続けてほしい。

戦争の真実

体験者(語り部)が少なくなっていく中で、当時の様子をリアルに伝える手段として活用したい。

よくわかりませんが、教育関係者から何かを求められたら、色々協力していきたい。

ネットを使った、配信教育を増やしてほしい。

体験型のものを。

今回、継承者がの少なくなった沖縄戦を子どもたちは、リアルに感じる事ができたので、歴史を語り継ぎ、新しい世代が知る機会をつくってほしい。

より多くの人が享受できるやり方を望む

平和教育、子どもたちの情操教育

次回は生で観劇したいです。

実際、生で鑑賞できること。

コロナの終息が叶えば、実際に公演を観たい(観させたい)

文化庁は国民の文化度を高め維持する大切な役割があります。是非とも離島、へき地の人々へのサービスを続けて。

今回コロナの影響でオンライン公演となりましたが、やはり生での観賞が良いと思います。

コロナがおさまったら予定したような生徒参加型の劇にしてほしい。

島の児童・生徒たちへの思いをお聞かせください

18 件の回答

島の歴史、文化など地元の事を知って誇りに思ってもらいたい。

思ったより戦争のことを知らないんだな～と少し気になった。

明るい、優しく、思いやりのある子に育ててほしい。

平和が一番ですね。

自分達の島の伝統や文化、歴史を 15 の春で旅立つ前にふれて良さ感じてほしい！

島に誇りを持ち、自然、平和、人と共に生きることを大切に。

それぞれの目標(夢)を達成できるよう

私も含めて戦争を知らない者でも、しっかりと戦争を知り、平和を広げていきたいという意思を大切にしてほしい。

島に戻らなくても、離れていても島のために何かできる人になってほしい。

郷土に対する誇りを持って、国際的な視野で物事を考えてほしい。

本島での戦争の事実を今回、学ばせることができて良かった。

自分たちの足元にある歴史や文化をしっかり学び、世界に飛び立ってほしい。

島の歴史を知り、大切にしてほしい。

15 で島立ちする子どもたち、島への誇りをもって堂々と歩んでほしい。

元気に明るく生きて欲しい。

メディアが普及している現代においても、やはり「本物」を味わう喜びを感じてほしい。

島外の人たちとの交流で小さな島でも広い視野、世界がもてることを感じてほしい。

自然豊かな人情あふれる島で、過去にあった史実を知って活かしてほしい。

島をどのように発展させていきたいと思いませんか

13 件の回答

このままでいいとおもいます。

このままでよい。

島になだれ込むようなグローバル経済や資本主義による変化ではなく、島に残る自然と文化を尊び護りながらの持続可能な発展。

島の自然を守りながら、文化的な生活も向上させていきたい。

先人の考えや思いに耳を傾けてほしい。

教育によって人材育成ができる。そのために島の子たちにめったに見ることができない劇で視野を広げることができたらと思う。

自然保護と観光の両立

文化や自然、歴史を大事にしながらも、文明との共存、共生。

今のままで。人と人とのつながりを大切に。

自然を守り平和な暮らしができれば幸せだと思います

島でできること、島だからできることを付加価値をつけて発信できるように！

人を豊かにするものは、豊かな自然とそこで生まれた文化である、と実感できるような島であり続けたい。
GoToTokyo でなくても豊かに生きていける島。

豊かな人間関係(開発はしないでほしい)

その為には文化事業に求めるものはありますか

10 件の回答

リモート鑑賞でも良いので、ぜひ続けて下さい。

たまに観劇、音楽鑑賞等の機会を与えていただけるとありがたい。

島の文化芸能の保存、発信にも力を貸して欲しい。島で体験できない演劇などの芸術、舞台、ワークショップなどリモート活用で、実現して欲しい。

環境教育

今後もこのような日常では体験できないような鑑賞等を行って欲しい。

文化や伝統行事を大事にしている島なので後継者問題の解消。

へき地への広報活動とチケット費用への補助

伝統文化を担う人々のために支援事業。

子どもたちの成長に応じたコンテンツ(?)を提供できるといい。

自然科学、音楽、演劇など、たくさん伝えてほしい。

プロ野球選手



◦イラストレーター ◦外交官

◦ go to Canada.

◦ヨーロッパに住む



「島へ与える」から「島から与える」へ

文責：有馬理恵

●生徒・児童

生徒・児童の観劇前と観劇後のアンケートを比較すると、「芝居」「島の歴史」「伝統芸能」「方言」すべてにおいて、興味を持った人が増えている。「芝居」24.3%増、「島の歴史」12.7%増、「伝統芸能」15%増、「方言」8.8%増。

本事業が離島の子どもたちにとって、島の文化に興味を持つことに繋がった。

これまで、演劇を観るには、船で石垣島に渡り、石垣島での観劇が多数。その他、県外やテレビでの鑑賞の機会しかなく生の舞台に触れる機会が非常に少ないことが分かる。演劇の内容は、島オリジナルの演劇作品が多く、一般的な古典や現代劇を観る機会はほとんどない。

子どもたちの夢、とても多彩で楽しい。島での生活が垣間見える夢は、「西表島でGUIDEやりたい。」「でかい魚をつることです。」「ぼくのゆめはだいくさんです」「おとうさんみたいな大工」「祖父の内装の店を継ぎ、建設会社につとめている父と合同事業をしたいです。また、兄弟で家を建てることです。」「ホテルとかで接客する人になりたいです。」「花をいけることなど、植物が好きなので、植物に関係する仕事にもつきたいと思います。」など、島の実生活から繋がる夢。

一方、グローバルな繋がりを求める夢では、「東京の高校に行きたい。」「外国へ行く。」「カナダでパンケーキ食べる。」「カナダでオーロラを見る。」「外交官」「go to Cana」「ヨーロッパに住む」「アメリカに行きたい」「国外旅行したい。」「家族で海外旅行にいきたい。」「わたしのゆめは、おいしゃさんになることです。そしてせかいのまずしい人やびょうきになった人をたすけたいからです。」「海外のことを知りたい！」など。

島の子どもの人々を思う心が育っているのが、島の特徴。「人に役立つことができると思います。」「私の夢は人を助ける職業につきたいです。」「誰かを笑顔にする仕事に就きたいと思っています。」など島での助け合いの生活から育まれた夢。

観劇後の感想では、朗読劇でも、子どもたちは、俳優たちの言葉やわずかな動きから演出意図を読み取り、それぞれが想像力を働かせ、はっきりとしたイメージをもって、本公演を捉えている。観客としての想像力の質とレベルが高い。

まず、低学年の児童の感想から考察すると、「ばくふうでとばされてえだにささった子がこわかった。」「男のこが、ばくふうでとばされて、木にささるまで風がつよくて」「ばくふうでとばされて、きにささっているところが心にのこりました。」など、この場面は、男の子が爆

撃の爆風でとばされて、高い木の枝に刺さって、「たすけてー」と訴えているが、若い軍医と女子学徒は、枝が高くて助けようにも届かない。男の子は辛くて「ころしてー」と訴えるが、若い軍医と女子学徒は、どうすることも出来ず、耳を塞ぎながら駆け去る。この場面の男の子を女優が演じ、衣裳も女性の衣裳ままで、高い木の枝にひっかかっている様子を、小さな椅子の上に女優が立つことで表現した。特に低学年の子どもたちからの感想に、この場面が、明確に子どもたちの中でイメージされ、感情と記憶に働きかけ、インプットされたことが分かる。この想像力豊かな低学年の子どもたちが、5年後、どのように成長し、成長した姿がどのような表現としてアウトプットされるのかが、楽しみでならない。

次に、高学年の児童から多く寄せられた感想には、「戦争を二度としてはいけない」「改めて戦争のおそろしさというものを学びました。」「この間違いを二度とくり返してはならない」という意志表明が特徴。生徒の中に、意志が芽生えたことが考察される。

さらに、中学生になると、「もう一度知ろうと思った」「学習にいかしていけるようにしたい」「もう一度くわしく、戦争のことをしてよかったです。」「沖縄戦についてけっこう知ってるつもりでしたが…(略)…いろいろ考えさせられました。」「未来を担うのは自分達で未来をつくるもの」「知識を得て来たけど…(略)今までよりもっと詳しく、はっきりと戦時を知ることができた。」「過去について知らないといけない。」「沖縄本島の地上戦のことはあまり知らなかったもので、とても勉強になりました。」「初めて知ることにもいくつもあった。」「平和学習も真剣に取り組む。」など、学びへの意欲がさらに深まったことが考察される。

また「私は体験していないが、聞いたこと学んだことを次世代へ伝えていかなければならない立場にいる。」「次世代に語り継がなければと思いました。」「自分の夢を実現させたいと強く思った。」など、次へ繋げていくことへの自覚が芽生えていることは大きな成果である。

どの学年からも「来年は実際に見てみたいです。」「次はオンラインじゃなくて生でみたいです。」「次はきてほしいです。」「また、体験者のお話で、一人で聞けないので次に聞きたいです。」「次は本人とあうのが楽しみです。」「生でなくて残念でした」「リモートでもかっこよかったし凄かったけど、もっと間近で見たいと思いました。」など、生で観劇したい思いが溢れており、離島へき地活性化事業の重要性を感じる。

本事業は、5年間の計画を遂行し、5年後の戦後80年、各島での成果にさらに期待と責任を感じる。

●教職員・教育関係者・保護者

演劇に興味がある 88.1%、島で演劇を観たことがある 73.8%、教育に演劇を取り入れたい 68.4%、今後教育に演劇を取り入れたい 80%と、演劇への関心が高いことが分かる。また、平和教育を行っている 87.5%と、大多数であることも特徴。

教育に演劇を取り入れている、取り入れたい理由として、「表現力」「コミュニケーション能力」「想像力」「読み取る力」「自己開示力」「伝える力」を育てること。「感性」「感動」「感情」「体感」「空気感」「臨場感」などの「感じる力」を養うことによる「自信」「楽しむ」ことの大切さ。演劇が教育にとって多角的な作用をもたらす事が分かる。

観劇後には、「生の舞台を体感してほしい」「心に届く、伝え方だから」「勉強になる」「心を育てる」「生きる力を養える」など、さらに総合的な言葉で表現されている。

一方、教育に演劇を取り入れられていない理由として、「時間を確保できない」「指導方法が難しい」「技術的にも時間的にも難しい」「進度的に保障がない」など「時間」と「指導法」さえ確保できれば、可能である。その点においても、本事業は島の文化活動に貢献できる。

観劇後には、「検討」という回答もあり、諦めない意志への変化が次への発展を感じる。

平和教育については、「講演会」「本」「パネル展示」「写真」「読み聞かせ」「紙芝居」「歌」「新聞」、フィールドワークで「平和祈念館」「佐喜真美術館」「戦跡（忘勿石碑など）」、「慰霊の日」「平和月間」など、歴史と文化が結びつき、平和教育への基盤が受け継がれていることが分かる。今後の課題は「マンネリ化」「広く国際的な課題」「体験者がいなくなってしまうこと」などがあがっている。

観劇後は、「日常的につたえてほしい」「外部団体との連携」「近隣諸島との友好」など、意欲が強まり視野が広がっている。

歴史教育についても、「忘勿石」「マラリア」「炭坑」「開拓」「再開発」「種子取祭」「結願祭」「自然活用」「食」など、島ならではの歴史教育が行われている。

伝統芸能や方言について、「三線」「おどり」「エイサー」「狂言」「わらべうた」「かぞえうた」「村芝居」「伝統行事」「種子取祭」「テドゥンムニ大会」「方言ラジオ体操」「島言葉昔話」「島言葉校歌」など多彩な取組で伝承されている。それらを本事業に取り入れ融合させるとより発展的に広がる事が期待できる。

本事業に協力いただける方が 100%であることは、大変喜ばしい。本事業に求めることに、「参加型」「体験型」「来島」「来校」「継続」「伝承」。観劇後は、「参加型」「体験型」「生の観劇」などの回答が増えた。

島の子どもたちへの思いでは「島立ち前に、島の良さ、自然、歴史、文化、伝統芸能を学ぶ、感じ、誇りを持ち、発信できるよう育ててほしい」などの意見が多い。

観劇後には、「本物を味わう喜びを感じて欲しい」「島への誇りをもって堂々と歩いて欲しい」「世界に飛び立ってほしい」など願いがさらに強く広がったことが分かる。

島の発展については、「自然、文化、伝統の継承」「自然と共生」「人と人が共に生きる共同体」「平和な島」「子どもたちが戻りたくなる島」今あるものを大切に発展させていくことへの思いが多数。

観劇後には、「このままでいい」「開発はしないでほしい」「GoToTokyo でなくても豊かに生きていける島」「島だからできることに付加価値をつけて発信」など「島」の価値をより意識されたことが分かる。

文化事業に求めるものは、「島の良さ、歴史、伝統、文化、自然を大切に伝えて取組」「継承者、後継者の問題」「都会も離島も教育は平等であってほしい」「都会とへき地離島との格差問題」など、本事業の必要性を痛感。

観劇後には、「リモート鑑賞でも良いので、ぜひ続けてほしい」「島で体験できない演劇などの芸術、舞台、ワークショップなどリモート活用で、実現して欲しい」「子どもたちの成長に応じたコンテンツを提供」「へき地への広報活動とチケット費用への補助」など、文化事業への期待がさらに高まったことが分かる。

本公演への感想・意見では「人から発せられた言葉による、語り、伝承に勝るものはないですね」「ずっと聞くのがむずかしい子や、想像することがむずかしい子には、演劇の方がよいかもしれないと思いました。」「今回は今の幸せ・平和があることの有難さを身に染みて感じさせるもの」「子どもたちが、すごいと言って帰ってきました。」「生の演技を見てみたい」「子どもが『東京から流れてきて驚いた』『つながっている！』と手をふってよろこんでいた」「学び、平和の尊さを伝えていかなければ」「今かかえている基地問題など全く知らない。これをきっかけに、視野を広げ平和について学ぶことができると思う」「当時の背景が見えるよう」「臨場感があり、とても良かった」「記録や説明だけでは感じることはできない…（略）…思いや感情をも伝えることができる」「とても衝撃でした」「予想以上の迫力」「心のごちそう」「文化庁が今回のように本物の芸術を子どもたちに届ける事業をどんどん実施して行ってほしいと切望します」など、本事業、本公演へのそれぞれの熱い思いを明確に回答。本事業への期待の熱が広まった、コロナ禍の1年目において大きな成果を得たと考察する。

沖縄戦の悲劇 離島の子へ

俳優座が朗読劇 小中学校とネットで結ぶ

俳優座が現地で行った特別公演が、都内で朗読劇「女子生徒たちの沖縄戦」をオンラインで配信した。小中学校とネットを結ぶ。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。

俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。

俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。



西表島の小中学校につなげたビデオカメラの前で、朗読劇「女子生徒たちの沖縄戦」を熟演する俳優たち。日原区の五百羅漢寺で撮影された。

東京新聞 2020年 11月19日(木)

平和劇オンライン鑑賞

西表の児童、沖縄戦学ぶ

「えんどうの花」出演者と歌う

俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。

俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。

俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。



「えんどうの花」出演者と歌う

沖縄タイムス 2020年 11月22日(日)

沖縄戦の朗読劇観賞

西表小 オンラインで俳優座舞台

俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。

俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。

俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。



「えんどうの花」を歌唱する場面で、一緒に歌う児童ら。17日、竹富町西表島の大原小学校

琉球新報 2020年 11月21日(土)

朗読劇で平和学習

女子生徒たちの沖縄戦

大原小学校 東京の舞台をリモートで

俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。

俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。

俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。俳優座が、現地の俳優たちと共同で制作した。



大原小学校で、オンラインで俳優座の舞台を観賞する児童ら。

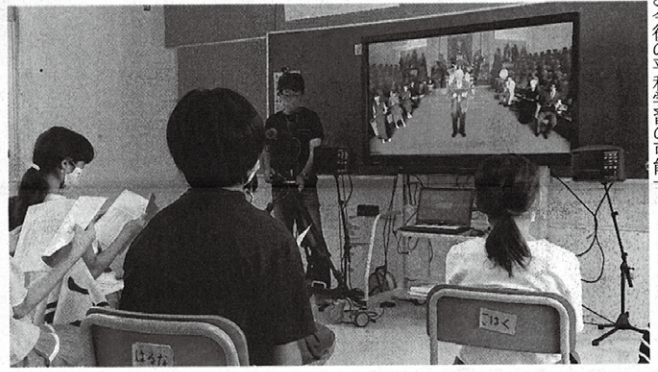
八重山毎日新聞 2020年 11月28日(土)

沖縄戦の朗読劇上演

東京と竹富小 オンラインで結ぶ

朗読劇「女子学徒たちの沖縄戦」(主催・文化庁、日本劇団協議会)が、このほど、東京都の天恩山五百羅漢寺本堂と竹富小学校(黒島藩一校長をオンラインで結ぶ)上演された。文化庁委託事業「令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業」(女子学徒たちの沖縄戦)公演と調査による離島・へき地の活性化事業の一環で、劇団俳優座が実施した。

朗読劇のストーリーは、沖縄戦末期、激しくなる戦いの中で、従軍看護婦と学徒動員された女子学生の心の変化を描く。麻酔剤での手足の切断手術や子どもが「僕を殺して」と懇願するシーンなど、悲惨な戦時下の状況も描かれている。内盛美和さん(小)は「命がけて患者を守り抜く看護師の優しさ、勇気がすごいな」と思いました。最後まで生きるという言葉を話して、「と感想を話した。



オンラインで結ばれた朗読劇を鑑賞する生徒たち(17日、竹富小学校)

八重山日報 2020年 11月30日(月)

朗読劇「女子学徒たちの沖縄戦」について

竹富町立大原中学校 校長 垣花正人

朗読劇開催に当たって
大原中学校は、沖縄本島の2番目に大きな島(西表島)の東部に位置している。人口は2,400人で東部には、900人程が生活している。本校は東部地区唯一の中学校で、生徒数33名の小規模校である。この地区では農業が主な産業で、サトウキビ作り、稲作等の収入で生活を営む人々が多い。近年は、仲間川や由布島への観光客が多く見られ、観光業で働き生計を支えている人もいる。教育文化施設として、保育所のほか、幼稚園、小学校2校、中学校1校、離島振興総合センター、町立交流センター、野生生物保護センター、沖縄森林管理署(大原森林事務所)等がある。

医療施設は、県立大原診療所、町立歯科診療所があり、住民の健康保持に貢献している。地域の伝統祭りとしては、豊年祭や大原祭りなどがある。しかし、図書館や博物館・美術館などの施設はなく、文化芸術に触れる機会や多種多様な職業と関わる場面が少ない。今回の朗読劇鑑賞は、生徒達のキャリア教育の面や芸術に触れるチャンスとして捉え、さらに「平和学習」にも繋がりは是非とも実施したかった。

- 2 朗読劇について
当初は、本校に招き生の演技を実演していただく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となった。それでも生徒達は、普段接することのできない俳優(役者)たちの熱演を鑑賞し、職業選択の幅を広げると共に、沖縄戦の悲惨さを改めて実感することができた。途中、生徒が合唱で朗読劇に参加する機会もあり、見聞きするだけでなく、体験することもできて、大変良い学習となりました。
- 3 今後に向けて
新型コロナウイルス感染症が終息し、身近(本校での開催)に体験できる機会を切に希望します。また、体育館に暗幕を設置して、プロジェクターによるリモートでの投影であったため、音声途切れたり、画面が見づらかったりしがため、実感に欠ける面がある。備品や設備面での改善も必要である。

「語り継ぎ」を通して、未来に平和をつなぐ
 宮良 純一郎
 戦時末期の沖縄戦(1945年)は、八重山に上陸した米軍と戦った。その中で、多くの若者が犠牲になった。その中でも、女子学徒隊の活躍が注目されている。彼女たちは、看護婦として、そして、学徒動員として、戦いに従った。彼女たちの物語は、戦時下の沖縄を伝える貴重な記録である。この朗読劇を通じて、彼女たちの姿を思い起こし、平和の大切さを学ぶ機会を得た。未来に平和をつなぐために、私たちは彼女たちの物語を語り継ぎ、平和の大切さを伝える必要がある。

TVニュース報道
 NHK沖縄 RBC琉球放送 沖縄テレビ

文化庁主催：「躍動する朗読劇『女子学徒たちの沖縄戦』」を鑑賞して思うこと

竹富町立大原小学校 校長 宮良貞光

こんにちは、今回は、劇団俳優座の有馬理恵さん始め、演技なされた俳優の皆さん、『女子学徒たちの沖縄戦』を公演していただき本当に感謝しています。ありがとうございました。

西表島の子ども達は、島に高等学校が無い為、中学校を卒業すると15才で親元を離れ、石垣島や沖縄本島・本土の高等学校や専門学校へ進学や就職のため、旅立っていきます。

私たち教師は、子ども達が卒業するまでに社会に出て自分で生きていくために困らないよう授業の中や学校生活全般に渡っていろいろな指導を行っており、西表でしか出来ない体験活動も積極的に取り入れ教育を行っています。

でも、今回、劇団俳優座の皆さんに行っていたいただいた公演のように機会がないと経験出来ないことが沢山あります。

隣の石垣島までは、どうにか歌手や劇団などいろんなジャンルの公演が来ることはありますが、竹富町の島々には中々巡って来ることはありません。

そういうことで、児童・生徒や島の人達は、興味があっても普段からそういう公演は中々身近で見るということが出来ませんし石垣島で行われても船代金や公演の時間帯によっては宿泊をしないと行けない。また、見るときは保護者や親戚の人達に連れていってもらわないといけなというのが現状で、普段から中々経験できないことが数多くあります。

そのような中、今回のオンライン公演『女子学徒たちの沖縄戦』（本来は学校に来ていただき児童の前で演技をしてくれるはずでしたが新型コロナウイルスの感染拡大防止の為にオンライン公演になった事は残念です。）は、演技している俳優達のリアルタイムな演技を見られたことはとても子ども達の心に響いた事だと思えます。

私は、直に体験する。または経験することは本当に素晴らしい事だと思っていますし、これまでにいろんな演劇やいろんな演技等を見て感動し、涙をこぼすほど感動したことが何度もありました。

今回、劇団俳優座の皆さんがプロジェクターで映しだした画面の中で一生懸命演技をしている姿を見てとても感動いたしました。子ども達も俳優座の皆さんの演技を見て一人一人それぞれに色んな事を感じた事だと思えます。本当にありがとうございます。

今後、新型コロナウイルスの感染が落ち着き、普通に公演できるようになりましたら、是非西表島の子ども達の前で直に演技をしていただきたいと思えます。劇団俳優座の皆さんが新型コロナウイルスに罹らず、これからもますます元気で活躍していくことを祈願いたします。本当にありがとうございました。

島の文化の発展や今回のような取組への期待や重要性

竹富町立竹富小学校 教員 親田拓之

竹富島は、種子取祭という室町時代から続くと言われる祭りが10月頃にある。9月頃になると、種子取祭に向けて、島の人達が動き出す。学校の児童生徒もそうだ。保育所生もミルク様と一緒に演舞に出演する。小学生、中学生も狂言に出演する児童生徒もいる。また、学校の職員も太鼓の演舞を行ったり、庭の芸能をしたりする。児童生徒は、放課後、部活が始まる前や、終わった後、各集落に集まり練習を行う。今年度は、コロナの影響でこれまでずっと続いていた種子取祭が中止になった。

また、島にはテドゥンムニと呼ばれる方言がある。例年、毎年一回、テドゥンムニ大会と呼ばれる寸劇やテドゥンムニでの意見文発表会のようなものも開催されている。島の言葉を、伝統芸能をどのように受け継いでいくのか、もしかしたら島の島にとって課題の一つかもしれない。

先日、劇団俳優座さんによるオンラインの平和劇を本校の5、6年生が観賞した。スタッフの皆さんの迫真の演技に魅了された。児童の感想で、「命がけて患者を守り抜く、看護師の優しさ、勇気がすごいな、と思いました。」とあった。昨年、修学旅行で沖縄本島にある、ひめゆりの塔や、糸数壕、平和祈念公園を児童達は訪れた。その時に、見たことや、聞いたこと、調べたことを思い出したようだった。フィールドワークで体験したことと、今回の学びが重なった。

戦争を体験していない私たちが、「戦争は怖い」この言葉の意味をどれだけ、リアルに想像できるだろうか。今回のオンライン平和劇のおかげで、戦争の怖さについてのリアリティーを深めることができた。私達教師は、児童生徒に様々な学びの場を提供したいと考える。児童生徒にとって、教師以外の様々な分野の専門家との出会いも貴重な経験であり大きな学びである。

島の文化をどのように継承するのか。また、児童生徒にどのように平和について考えさせる場を提供するのか。そして、教師以外の専門家との出会いをどのようにコーディネートするのか。今回のオンライン平和劇観賞は、教育の現場において新たな可能性の扉を開いた気がした。

本事業に対するコーディネーターの思い

西表島コーディネーター 山城まゆみ

離島県沖縄の中でも本島のはるか南西に位置する八重山諸島。西表島を含む竹富町の島々には劇場、映画館、博物館、美術館、図書館などの文化施設は皆無で、多様な芸術文化に触れられる機会は僅かです。

今回の事業のお話を伺い、ぜひ協力させていただきたいと思いました。生の舞台の魅力はもちろんですが、朗読劇のテーマに心を動かされたからです。

私の暮らす大富集落は西表島東部の仲間川河口のジャングルに築かれた開拓集落です。私は25年前に東京から島に嫁ぎましたが、身近なおじいおばあ達は壮絶な沖縄戦と苦難の戦後開拓を生き抜いた人々でした。ここで「命どう宝（ぬちどうたから）」何よりも尊いものは命と言う言葉と、命がけて苦難を乗り越える開拓魂を学んだのです。それこそが、島に高校がないため15歳で旅立たねばならない子どもたちに持たせてやりたい教えです。島の生き証人たちはその多くが故人となり、戦後生まれ、他所の生まれの私であっても、足りないながらも口伝えして行かねばなりません。

今回、東京の劇団の皆さんが沖縄戦の悲劇を舞台にして下さった事に大変感謝しています。残念ながらコロナ禍により現地公演は中止となりましたが、多くの方々のご尽力により、東京と島をリモートで繋いだ舞台が実現しました。島の子どもたちと一緒に歌った「えんどうの花」では皆の想いが一つになりました。子どもたちの心に「命どう宝」の種が蒔かれました。平和を希求する種が多くの花を咲かせていきますように。目に見えない種を蒔く芸術がより大切にされていく事を願います。

子どもたちが生まれ島の自然文化に誇りを持ち、同じように広い世界の多様な文化や価値観を持つ他者を尊重する人になって欲しい。そのためには交流が大切だと考えて、島の人々と協力しながら文化交流や学び合いの機会を作る活動を行って来ました。今後もこの事業が継続されて、島人と子どもたちに多くの感動をもたらしていただけますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

オンラインで結ぶ朗読劇を観て

竹富島コーディネーター 石垣久雄
(竹富町史編集委員会)

2020年11月18日、竹富小学校5年6年生と東京と竹富島をオンラインで結ぶ、「女子学徒たちの沖縄戦」の朗読劇上演を観た。

コロナ禍の中の上演だった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手はていねいに洗い消毒する。マスクは必ず着用する。三密（密閉、密接、密集）は避ける。不要不急な外出は止める。このような指示呼びかけが新聞、テレビ、ラジオ、公報マイク等で毎日流されている。

このような状況下で人々の生活は欲求不満に落ちるばかりである。コロナ禍で人と人との絆が断ち切られない活動が、今回の文化庁委託事業「令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業」「女子学徒たちの沖縄戦」公演と調査による離島・へき地の活性化事業であったと理解している。

東京オンライン配信、八重山オンライン配信で朗読劇は上演された。そこには児童生徒たちも共に劇に参加し一緒に朗読劇のストーリーを学べる新しい学習形態があった。これからは、創意工夫された、学校教育、社会教育、芸術文化事業等の進展した社会が到来することでしょう。竹富校のICT教育は、1996年にNTTと文科省のコネットプラン活用から始まったといえます。武田鉄矢さん有森裕子さんのトークなどで学習。また、スペースシャトルコロンビア号に搭乗した土井高雄さんをはじめ7人の宇宙飛行士が講師を務め、宇宙についての勉強をした。（竹富町史、竹富島編）

2020年、新型コロナウイルス禍で新設されたオンライン生活は、家庭・職場を大きく変えた。竹富町は、2020年12月24日、離島苦解消のため、沖縄ITイノベーション戦略センターとデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進する施策を発表し着手した。都市や農村、島嶼社会等の文化的格差が是正され、どの地域に住んでいようが文化の恩恵がひとしく享受できる社会の到来に大きな期待を寄せている。これからは、今回のような文化庁の委託事業等をどうし企画され、離島・へき地を活性化し、心豊かな地域住民の生活向上にご尽力下さいますよう「女子学徒たちの沖縄戦」の朗読劇を観て一層その感を強くした。

今回、劇団俳優座の公演は、竹富町の西表島・大原中学校、小学校そして竹富島の小学校と上演されたが、可能なかぎり多くの人々が一緒に劇を観れるよう共に努力したいと思った。石垣島でもコロナ禍で、朗読劇とおなじようにオンラインで、インドネシアの高校生と八重山の高校生が相互の伝統文化を披露しあう芸能交流があった。演目にもよるが、学校だけでなく各種団体と共に公演ができれば良いねとも感じた。すばらしい劇を竹富町の子どもたちに届けていただきました。皆様に、感謝申し上げます。

「芸術文化創造事業」への所感

現地統括コーディネーター
宮良純一郎
(八重山戦争マラリアを語り継ぐ会)

2020年度(令和2年度)本事業に、現地コーディネーターとして関わった立場から所感を述べる。

支援依頼があった時、私は、先ず本事業の目的・活動内容について、未来の地域社会を担う子どもの育成を「平和」の視点から捉えている文化的事業であることに注目した。私がかかわっている八重山戦争マラリアを語り継ぐ会の「戦争体験の教訓を語り継ぎ、恒久平和を築く」こと、目的、「『証言による朗読劇、紙芝居、戦跡地ガイド』、『地域の音楽や文化・芸能サークルなどとの連携・推進』」の活動が本事業の目的・活動と共有でき、共感したのである。本事業を主催し、企画・推進する「日本劇団協議会」、実際に「朗読劇」を演じる「劇団俳優座」が、遠隔の地にある八重山諸島の子どもたち・住民を対象にいただいたことに有り難く、心強く思う。本事業が「平和的に生きる子どもの育成」、「島の活性化・発展につながる」という、いわば学校教育と社会教育、両者の営みの中心的な部分を共有するという点で、壮大でありその取り組みの意義は大きい。学校教育は地域に開かれ、地域社会の協力・連携があってより充実する。地理的にへき地であっても教育にへき地はあってならない。本事業が求めている参加型の取り組みは、学校教育が抱える課題でもある。それだけに、本事業を対象とする学校と地域に如何に広報し理解を求め、参画を図るか、その時期と方法を今一度考えたい。各学校は4月からの新年度において、前年度2月頃から本格的に教育計画づくりに入る。したがって、その時期に広報、参画応募の取り組みを始めるとよいのではないか。地域公民館にも同時期に併行して行えば、学校、地域が連携した取り組みが出てくるのではないか。今年度は初回で、コロナ渦という特殊な状況下において、三学校が本事業をご理解くださって快く参画した。その英断に感謝したい。「朗読劇」は、東京の舞台と学校をつなぐリモート上演となったが、その環境設定に地元の映像工場社の献身的な対応があった。今回のリモート上演は、コロナ渦の中において、先駆的なものとなり、その取り組みの意義も又大きい。それは、これからの学校教育、あるいは社会教育に求められるものもあり、その環境設定の必要性を痛感する。コロナ渦がいつになると終息のか、ワクチン接種によってその見通しに期待したい。そして、実際に生の公演活動ができることを。

さて、朗読劇『女子学徒たちの沖縄戦』、キヨ子の兄が軍神にされたこと、対馬丸の撃沈、那覇10.10空襲、そして米軍の上陸・地上戦と沖縄戦に至った背景を時系列に描き出している。激戦地に放り出された女学徒たちは友を亡くし、「お国のために」との教えは何

だったのかと戦争の不条理を問う。回想シーンで何度も出てくる「絶対に生きて帰ってくるんだよ」の父の言葉が響いてくる。観劇後、大原中学校の生徒は「小さい頃から沖縄戦について学んだが、朗読劇で戦争の悲しさ、間違いをあらためて学んだ」と話した。平和的資質の芽生えである。

本事業は5年計画で年次毎の構想を示している。1年目の今回は、「演劇の楽しさを知る」である。そのねらいはほぼ達成されたように思う。2年目以降も示しているが、2年目の今年(2021年度)は、コロナ禍の状況もあって中止せざるを得ないとのことであり、地元の方にはご理解を賜りたい。3年目の来年(2022年)度、再開に向けて今年度中に新たな構想計画を示すことになる。その際、本事業を平和学習に取り入れる教育課程を編成する学校、そしてそれを支える地域が出ることをを期待したい。本事業の今後を展望した場合、示された構想計画を弾力的に捉え、無理なく、継続できるかである。朗読劇については、好評を得た今回の『女子学徒たちの沖縄戦』も含め、新たな朗読劇を創る場合、島々・地域を八重山一圓に捉え、それに立脚した題材で、既に出来上がっている脚本に歴史・伝統芸能、方言等をどう組み込んでいくかということになる。脚本の選定、公演に向けたスケジュールを具体的に立て取り組む必要がある。

平和であってこそ、芸術・文化の発展がある。その視点で本事業が子どもたちの「学び」と「成長」を育むという、まさに教育の本質をおさえた営みでもあることを、強調したい。

- 1 先ず目的について、小生がかかわる活動と共有できる。
- 2 本事業が対象にする八重山地域への公報・宣伝が遅れた。
 - * 学校教育計画(教育課程編成)へ、組み入れてくれる学校が少なかった。
 - * 地域への協力、理解を如何に。
- 3 コロナ渦のもとでのリモートの取り組みは大いに評価できる。
 - * 朗読劇を実施に演じる劇団俳優座とirikumi
 - * 学校・地元の環境設定(映像工場の献身的な取り組み)
- 4 朗読劇の内容、今後を展望して
 - * 今回の内容、地域に立脚した題材・脚本化
 - * 芸術・文化の発展、平和であってこそ

信頼のバトン

演出 森一
(劇団俳優座)

当初このプロジェクトは西表島、小浜島、波照間島に赴き小学生、中学生と共に島民の方々の前で実演を行い作品の内容と共に演劇の持つ力や演じる俳優のパワーを肌で感じてもらい今後の情操に役立てていただきたいという趣旨でありました。このような意味から私は一般的な朗読劇ではなくエネルギッシュな躍動を創りそれに即して稽古のプランを立てていました。しかし昨年二月頃より蔓延が始まったコロナ新型コロナウイルスのために公演の中止も視野に入る事態となりこの作品をプロデュースする有馬理恵が当地に赴きました。

有馬の報告によりまずと総括コーディネーターの宮良さん、西表島の山城さん、竹富島の石垣さんをはじめ多くの方々がこの公演を私共の想像以上に心待ちにしてくださっており、何としても実現をしなければならぬと有馬の強い意志の報告を現地より受けました。映像工場の黒島氏が殊に積極的でインターネットの生配信が可能ではないかと提案をいただきました。私共を突き動かしたのはひとえに島の方々の「子供たちに質の高い演劇を」の意思の強さでした。そこで私共はあくまでもライブにこだわって映像配信をするという今までに行ったことのない新しい試みにチャレンジすることにいたしました。特筆するのは黒島さんのクオリティーの高い作品創りへのこだわりと東京(俳優たち)と離島(子供たち)を結びつけようとする郷土愛でした。

カメラのファインダーからの世界と通常の舞台では目に入ってくるもののリアリティが大きく違ってきます。カメラのズーム機能を使うと通常の舞台中継のようになってしまいますし、通常の舞台装置にカメラを向けると平板になりドラマに奥行きがなくなります。そこで試みようと考えたのが劇場に舞台装置を組む虚構の空間ではなく、日々の生活の中で人々の魂の拠り所となる実際の場所、私達が演劇を通じて知り得た、沖縄戦で命を落とされた方々の無念を思い鎮魂が出来る場所を公演地として選びました。それが東京都目黒区にある通称五百羅漢寺の本堂でした。そこにカメラを定点で設置しました。カメラのズーム機能に代わって必要があれば俳優がカメラに近づく。そのようにして内容にも遠近が出せないかと模索しました。舞台を

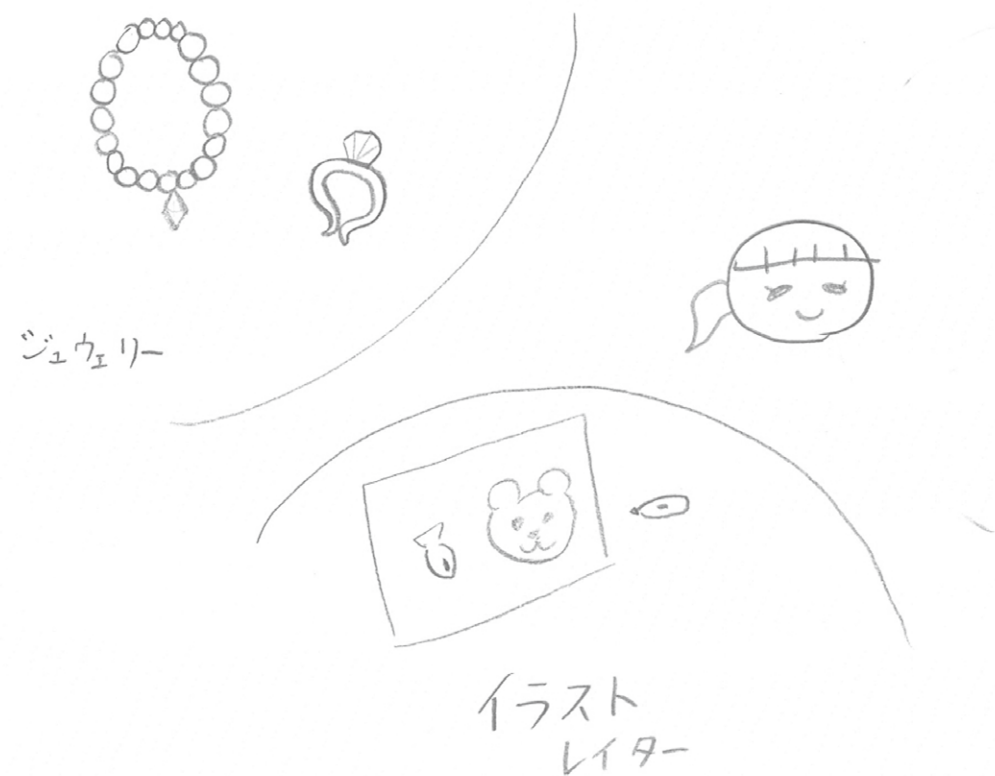
ネットで配信するというのは今までにない未開発の上演形態だと考えます。コロナ禍で生み出された新しい表現手段だと考えると皮肉なことではあります。

稽古前にはプロダクション参加者が全員 PCR 検査を受けすべての者が陰性であることを確認して稽古はフェイスシールドにマスクあるいはマウスシールドを装着し、稽古の前後にはテーブルや椅子のアルコール消毒を行いました。種々の制約のある中で稽古は不自由でしたが、同時にこんな時にも演劇を続けてゆける喜びを噛みしめもしました。

本番は4公演、私たちは離島の子供たちをモニター画面で確認し、離島側では私たちの創るドラマを観る。相互に確認しながらドラマは進み劇中で私たちが歌う「えんどうの花」では島と私共が合唱で繋がり思わず涙が出そうになったのは私だけではなかったと思います。黒島さんがなさりたかった交流はこのことだと理解しました。

苦しい時代ではありますが演劇の力を実感しました。このへき地・離島公演が今後も継続され、観る側演ずる側が互いに演劇の力を信じあえる機会を大切にしたいと思います。

・あなたの夢を、自由に書いてください。文章でも絵でもなんでもいいですよ。



ライフワークとして取り組む

プロデューサー 有馬理恵
(劇団俳優座)

離島・へき地の活性化事業は、人間の本質、社会の本質とじっくり向き合う事業であると実感しています。だからこそ、5年間、腰を据えて取り組まなければ、見えてこない、達成できない根気を必要とする事業であることも痛感しました。

考察からも分かるように、本事業が離島の子どもたちにとって、島の文化に興味をもつことに繋がり、一般的な古典や現代劇を島で観る機会が極め少ない島民にとって、次への期待の熱が広がりました。また、離島の子どもたちは、自然や文化に触れて育ってきたことにより、観客としての想像力の質と演劇を捉える力の基盤が育まれていることが分かりました。だからこそ、本事業を5年間継続することにより「島に与える」から「島から与える」へ転換し、離島から社会的価値を創出していきたいと思えます。

島には高校がなく、中学を卒業すると子どもたちは島を出て行きます。戦後80年の4年後を目指して、島の独自の歴史、文化、言語、伝統芸能、戦争体験をおじい、おばあから受け継ぎ、5年間かけて島独自の演劇を創り上げ、一度、島から出た子どもたちが、島に戻り、島を語り、島の産業発展に繋がるような学校教育と社会教育の中心部分を共有する壮大な取り組みの創出を夢んでいます。

島になだれ込むようなグローバル経済や資本主義による変化ではなく、島に残る自然と文化を尊び護りながら持続可能な発展を島の人々は求めています。

一方、2020年7月、初めて八重山諸島の黒島に降り立った私を迎えてくれたのは、セタの短冊に書かれた子どもたちの願い事。島の電信柱のあちこちに願い事が掲げられていました。「ゆーちゅーばーになりたい」出合う電信柱、電信柱に「ゆーちゅーばーになりたい」と。島民およそ220人の島に牛およそ3000頭。子どもたちの願いに大きなカルチャーショックを受けました。今年度はコロナ禍で上演が叶わなかった黒島ですが、又吉英伸公民館長、仲底傑副館長は率先してコロナ収束後には迎え入れたいと、この事業の意義を理解され来年度以降の開催を楽しみにしてくれている貴重な存在です。

また、小浜島では、島の伝統芸能の伝承にご尽力されている花城正美公民館長が、島の木材を使用して作った笛で、島の古典音楽を演奏され、出迎えてくださいました。さらには、三線で島の唄を唄われ、島の方言や島独自の芸能、島の歴史と現状、さらに放牧されている馬にも乗せていただき、1日かけて島の文化芸能歴史を教えてくださいました。小浜島も黒島同様、今年度はコロナ禍で上演が叶いませんでしたが、今後、島の伝統芸能や方言、文化を継承していく上で、花城正美公民館長の協力も必須になります。

その他、小浜小中学校の漢那ひとみ校長、黒島小中学校の名嘉原泰志校長、古見小学校の赤嶺智郎校長、波照間小中学校の嘉良寧校長、波照間公民館の仲底克彦館長、小成義雄副館長にもコロナ禍での開催検討にご尽力頂きました。

8月以降コロナの影響で現地に入れず、オンライン上演を模索、決断。8月20日2学期始業式、コロナ感染防止対策のため、子どもたちは歌を歌うことも許されない状況で、劇中歌「えんどうの花」で島の子どもたちと東京の俳優たちがオンライン共演を果たす夢は叶うのかどうかも、先が見えない中、10月になると島の子どもたちが学校の授業で歌の練習をできるまでに感染防止対策が緩和され、11月には西表島の大原中学校、大原小学校、竹富島の竹富小学校と東京都目黒区にある東京都重要文化財の天恩山五百羅漢寺(広島で被爆された移動演劇さくら隊の慰霊碑があります)の本堂を特別にお借りし、オンラインでつなぎ『躍動する朗読劇-女子学徒たちの沖縄戦』を生配信で上演することができました。本番当日、劇中歌のシーンで離島の子どもたちが一斉に立ち上がり、一緒に歌う姿が、東京のモニターテレビにもはっきり映し出され、熱いものが込み上げました。

コロナ禍において島民の健康を守るには、島は、より孤立を余儀なくされます。観光業で成り立つ八重山諸島の島々は、経済もひっ迫、人々の動きや流通も制限され、ひとりでも感染者がでてしまうと、旅行者だけでなく島民同士も互いを警戒してしまう、離島の不安と緊張感をひしひしと感じました。

本来、演劇は、温度、湿度、臭い、振動、空気、生身の人間同士のぶつかり合いによって成立する芸術ですが、オンラインでは、それが無い。演劇人としては、正直、不安で仕方がなかったです。しかし、だからこそ、心を繋げたいという双方の思いが、熱をおび強く深く熱く、新しい感覚の一体感と感激と感動が湧き起りました。

今年度は戦後75年の節目の年。コロナ禍で手探りの状況ではありましたが、戦後80年に向けてのいい出発を果たせました。現地コーディネーターの宮良純一郎先生、山城まゆみさん、石垣久雄先生、現地オンライン配信の映像工場、八重山舞台の黒島剛社長はじめスタッフの皆様、大原中学校の垣花正人校長、當銘武志教頭、大原小学校の宮良貞光校長、竹富小中学校の黒島善一校長、親田拓之先生はじめ教職員の皆様、生徒児童の皆様、保護者の皆様、報道陣の皆様、地域の皆様、天恩山五百羅漢寺の皆様、原作原画の新里堅進先生、東京のスタッフキャストの皆様、ひとりひとりの思いと智恵と工夫が重なり合い、コロナ禍でも本事業の大きな第一歩がスタートできたことを心より感謝申し上げます。

さらに腰を据え、離島の社会的価値の創出に向け、ライフワークとして島の人々と共に揺るがない文化と平和の基盤を育てていきたいと思っています。

文化庁委託事業「令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業」
「女子学徒たちの沖縄戦」公演と調査による離島・へき地の活性化事業
躍動する朗読劇「女子学徒たちの沖縄戦」オンライン上演

あらすじ

昭和19年「お国の為に戦うことはあたり前、まして死ぬことは名誉な行い、親孝行なことです」と、その教えを頭のてっぺんから爪先まで信じ込んでいる軍国乙女の中村光子は、新人従軍看護婦として止める父母を非国民だと叱りつけて意気揚々と沖縄の地に赴きました。光子が到着した頃の沖縄はまだ穏やかで一般の看護と変わらないものでした。光子が変わったのはその年の10月、アメリカ軍の急襲を受けたのです。のどかな沖縄は負傷した兵士の呻き声のまぎに血みどろの島に変わったので、光子は初めて経験する実践に度肝を抜かれ失神してしまいます。この日を境にアメリカ軍の攻撃は激しさを増して行きます。女学生も学徒動員され光子は女子生徒の訓練係として昼夜を共にするようになります。激しい攻撃は光子と女学生達の絆を強くしてゆきます。激しくなる戦いを通じて光子のころに変化が生じます。女学生をお国の為に死なせてはいけない。父や母の言葉が蘇ります。そして、思いもかけない兄の出現でより光子の心は乱れるのです。アメリカ軍は情け容赦なく迫ってきます。島を南に、壕に逃げ込んだ光子と学徒は思いもかけない決意をするのです……

●上演日時

11月16日(月)	15:20	16:20
竹富町立大原中学校	全学年	20
11月17日(火)	13:30	14:15
竹富町立大原小学校	低学年	15
11月17日(火)	14:45	15:45
竹富町立大原小学校	高学年	(西表島)
11月18日(水)	10:45	11:45
竹富町立竹富小学校	5年6年	(竹富島)

●東京会場
天恩山五百羅漢寺 本堂 (東京都重要文化財)

●キャスト



遠藤剛
劇団俳優座



有馬理恵
劇団俳優座



田中孝宗
劇団俳優座



佐藤礼菜
劇団俳優座



辻井亮人
劇団俳優座



天明屋渚
劇団俳優座



釜本美緒
劇団俳優座
演劇研究所

●演奏明



宮崎花澄
沖縄県立芸術大学大学院
琉球芸能専攻

●スタッフ

原作・原画：新里堅進（漫画家）
脚本・映像：宮本聖二（ヤフー株式会社・立教大学大学院教授）
演出：森一（劇団俳優座）
照明：石島奈津子（東京舞台照明） 美術：村雲龍一（劇団俳優座）
衣裳：松本潤子（劇団俳優座） ヘアメイク：青山眉子（劇団俳優座）
舞台監督：川口浩三（劇団俳優座）
東京オンライン配信・記録：宮本友介・西尾完太・伊藤大地・宮本桂太（プライ）
八重山オンライン配信：黒島剛・入松田陽・嵩本安博（映像工場）・鈴木洋行（八重山舞台）
現地統括コーディネーター：宮良純一郎（八重山戦争マラリアを語り継ぐ会）
西表島コーディネーター：山城まゆみ
竹富島コーディネーター：石垣久雄（竹富町史編集委員会）
宣伝美術：森山智寛（劇団俳優座）
企画提案：木口慎子（東京新聞）
アシスタントプロデューサー：宮崎健（劇団俳優座）
協力：劇団俳優座 東京新聞 中日新聞 琉球新報 Yahoo! ニュース 天恩山五百羅漢寺
後援：NHK 沖縄 琉球朝日放送 沖縄テレビ
プロデューサー：有馬理恵（劇団俳優座）
主催：文化庁 主催・制作：公益社団法人日本劇団協議会

公益社団法人日本劇団協議会
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 3F
TEL / 03-5909-4600 FAX / 03-5909-4666

文化庁委託事業「令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業」

躍動する朗読劇

『女子学徒たちの沖縄戦』

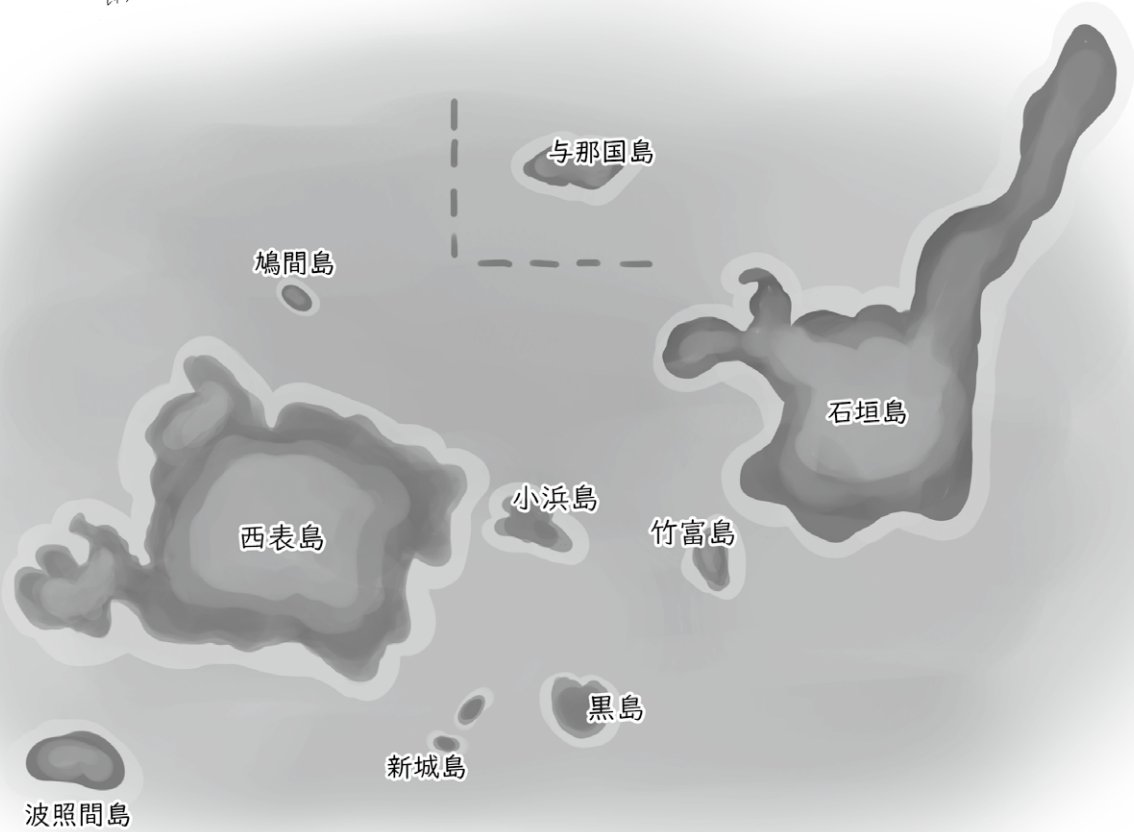
原作 原画：新里堅進（漫画家）
脚本 映像：宮本聖二（立教大学大学院）
演出：森一（劇団俳優座）

少女の声があなたに語りかける沖縄戦の真実
太平洋戦争、その末期……未来にとどけます。

この美しい島を再び悲しみのるつぼにしないために、どこまでも澄んだ空を再び汚さないために、私たちは今、七十五年前の悲しみの重い扉をもう一度開けることにしました。

戦争を語り継ぎ、未来に平和をつなぐ

プロデューサー：有馬理恵（劇団俳優座）
企画提案：木口慎子（東京新聞）
協力：劇団俳優座 東京新聞 中日新聞 琉球新報 Yahoo! ニュース
後援：NHK 沖縄 琉球朝日放送 沖縄テレビ
主催：文化庁
主催・制作：公益社団法人日本劇団協議会



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

文化庁委託事業
令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業
「女子学徒たちの沖縄戦」公演と調査による離島・へき地の活性化事業

2021年3月
発行：公益社団法人日本劇団協議会
〒160-0023
東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎 3F
TEL：03-5909-4600
FAX：03-5909-4666
編集：有馬理恵 畑澤幸恵
デザイン：渡邊璃音

「島へ与える」から「島から与える」へ

戦争を語り継ぎ 未来に平和をつなぐ

